

# 河川改修事業の再評価項目調書

事業名（箇所名）	吉井川直轄河川改修事業							
実施箇所	吉井川水系直轄管理区間 岡山県岡山市、瀬戸内市、備前市、赤磐市、和気町							
該当基準	再評価実施後一定期間（3年）が経過している事業							
事業諸元	一般改修（高潮堤防整備、耐震対策、築堤・護岸、河道掘削、堤防浸透対策） 管理延長 吉井川L=32.8km、金剛川L=3.8km							
事業期間	吉井川直轄河川改修事業（整備期間20年）：平成25年度～平成44年度 当面想定している事業（整備期間6年）：平成25年度～平成30年度							
総事業費（億円）	（整備期間20年） 287		残事業費（億円）		（整備期間20年） 287			
	（整備期間6年） 126				（整備期間6年） 126			
目的・必要性	<p>吉井川は、下流部の低平地に人口と資産の集中する岡山市街地、瀬戸内市街地が控えるとともに、流域の地形上、ゼロメートル地帯となっており、氾濫被害が生じやすく、一度氾濫すると広範囲に浸水域が広がるだけでなく、内水や高潮によっても浸水する。このような洪水・高潮被害を軽減するため、昭和21年度より直轄事業として河川改修工事が進められてきた。しかし、戦後最大である平成10年10月洪水（台風10号）による浸水被害や平成16年9月（台風21号）の浸水被害が発生するなど、再度災害防止の観点から吉井川及び金剛川の河川改修を引き続き実施していく必要がある。</p> <p>岡山市の県庁所在地としての都市機能の中核性や資産の集積状況を考えれば、堤防決壊による被害は深刻なものになることが予想される。このため、治水・利水・環境のバランスを考慮した吉井川の計画的な治水対策を実施していく必要がある。</p> <p>（洪水実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和51年9月洪水：家屋浸水戸数13,759戸（岡山県全域） 14,910 ha（水系全体）</li> <li>・平成2年9月洪水：家屋浸水戸数 6,190戸（水系全体） 3,195 ha（水系全体）</li> <li>・平成10年10月洪水：家屋浸水戸数 5,904戸（水系全体） 1,276 ha（水系全体）</li> <li>・平成16年8月高潮：家屋浸水戸数 7戸（水系全体） 2 ha（水系全体）</li> <li>・平成16年9月洪水：家屋浸水戸数 823戸（水系全体） 199 ha（水系全体）</li> </ul> <p>（災害発生時の影響：浸水想定区域内（流域全体））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人口：約14万人</li> <li>○世帯数：約5万世帯</li> </ul> <p>（災害発生時の影響：浸水想定区域内施設（直轄区間））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○重要な公共施設等：岡山市東区役所、瀬戸内市役所、赤磐市役所熊山支所、和気町役場、岡山市東消防署、瀬戸内市消防署、東備消防組合北部出張所、岡山東警察署、国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所坂根堰管理支所 JR山陽新幹線、JR山陽本線、JR赤穂線、山陽自動車道、国道2号、国道374号、岡山ブルーライン</li> <li>○災害弱者関連施設：岡村一心堂病院、藤田病院、瀬戸内市民病院、吉井川病院、赤磐市民病院、丹波病院、北川病院、平病院</li> </ul>							
便益の主な根拠	年平均浸水軽減世帯数 391世帯（当面想定している事業 64世帯） 年平均浸水軽減面積 272ha（当面想定している事業 146ha）							
事業全体の投資効率性	B：総便益	（億円）	C：総費用	（億円）	B/C	B-C	EIRR	基準年度
	直轄河川改修事業	総便益	1,409	総費用	213	6.6	1,196	24%
当面想定している事業（整備期間6年）	総便益	539	総費用	112	4.7	426	22%	H24
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後最大洪水である平成10年10月洪水が再び発生しても、浸水を防止する（岩戸7,100m<sup>3</sup>/s）。</li> <li>浸水世帯数 4,499世帯 ⇒ 0世帯</li> <li>浸水面積 2,745ha ⇒ 0ha</li> <li>被害額 2,281億円 ⇒ 0億円</li> </ul>							

<p>社会情勢等の変化</p>	<p>&lt;地域状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流域内の人口及び世帯数に大きな変化は見られない。</li> <li>・沿川は岡山市街地として高度な土地利用が進んでいる。岡山市は平成 21 年 4 月に政令指定都市に移行。</li> <li>・近年でも洪水被害を受けており、治水事業の要望は強い。</li> </ul> <p>&lt;事業に関わる地域の人口、資産等の変化&gt;</p> <p>【主要自治体（瀬戸内市）指標】</p> <p>○人 口 : 0.97倍 (37,852人/39,081人) &lt;H22数値/H17数値&gt;  内高齢化率 : 0.90倍 (3.5%/3.9%) &lt; " &gt;</p> <p>○世 帯 数 : 1.00倍 (13,343世帯/13,363世帯) &lt; " &gt;</p> <p>○事 業 所 : 1.15倍 (1,511事業所/1,331事業所) &lt;H21数値/H18数値&gt;</p> <p>【主要自治体（岡山市）指標】</p> <p>○人 口 : 1.05倍 (709,584人/ 674,746人) &lt;H22数値/H17数値&gt;  内高齢化率 : 0.89倍 (4.7%/5.3%) &lt; " &gt;</p> <p>○世 帯 数 : 1.08倍 (296,790世帯/275,242世帯) &lt; " &gt;</p> <p>○事 業 所 : 1.12倍 (33,649事業所/30,080事業所) &lt;H21数値/H18数値&gt;</p> <p>(出典) 人口・世帯数 : 国勢調査データ、事業所数 : 事業所統計(H18)経済センサス(H21)</p>
<p>事業の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河口部の九幡箇所においては、事業着手しており順調に進捗している</li> </ul>
<p>事業の進捗の見込み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのところ、事業は順調に進捗。地域住民からは引き続き河川改修事業を要望されており、関係期間等との協力体制も構築されていることから、今後も円滑な事業進捗が見込まれる</li> </ul>
<p>コスト縮減や代替案立案等の可能性</p>	<p>○環境に配慮して事業を進め、より一層事業効果の発現を図るとともに、今後河道掘削が主な工種となることから、圏域で実施される他工事への建設残土の流用等により、さらなるコスト縮減に努める</p> <p>○現在、河川整備計画の策定作業中であり、有識者及び地域住民からの意見を踏まえつつ、関係機関と協議・調整を図りながら、コスト縮減や事業の効果・効率性等を考慮して、整備内容を定める</p>
<p>対応方針</p>	<p>事業継続</p>
<p>対応方針理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治水安全度向上の必要性、費用対効果、地元の協力体制等を鑑み、事業実施が妥当</li> <li>・早期の治水安全度向上に向け、引き続き事業の推進を図り、早期に完成させることが重要</li> <li>・今後の詳細な設計段階において、さらなるコスト縮減を図るとともに、環境にも配慮して事業を進め、より一層の事業効果の発現に努める</li> </ul>
<p>その他</p>	<p>—</p>

# 吉井川直轄河川改修事業 事業再評価

国土交通省 中国地方整備局

平成24年9月26日

① 吉井川流域の概要、特徴、過去の洪水被害

② 事業の整備目標(案)、整備期間(案)、実施内容(案)、費用便益比(B/C)算出の流れ

③事業の費用対効果分析

吉井川直轄河川改修事業

④ 吉井川直轄河川改修事業（全体事業(案)）【 H25 ～ H44 】  
・ 便益の算出方法、費用便益比(B/C)算出、事業効果

⑤ 吉井川直轄河川改修事業（当面6年間(案)）【 H25 ～ H30 】  
・ 便益の算出方法、費用便益比(B/C)算出、事業効果

⑥ 今後の対応方針（原案）

# 吉井川流域の概要

- 吉井川は、その源を鳥取県との県境に位置する三国山（標高1,252m）に発し、途中で津山盆地を貫流し、吉備高原の谷底平野を南流して、吉野川、金剛川等の支川を合流し、岡山平野を流下し児島湾に注ぐ、流域面積2,110km<sup>2</sup>、幹川流路延長133kmの一級河川
- 河口から永安橋付近（5k0）までは、江戸時代に新田開発を目的として干拓により形成された低平地（ゼロメートル地帯）
- 下流部の岡山平野の岡山市と中流部の津山盆地の津山市に人口・資産が集中し、一度はん濇すると甚大な被害が発生
- 年平均降水量は約1,600mmで、全国平均（約1,700mm）と同程度

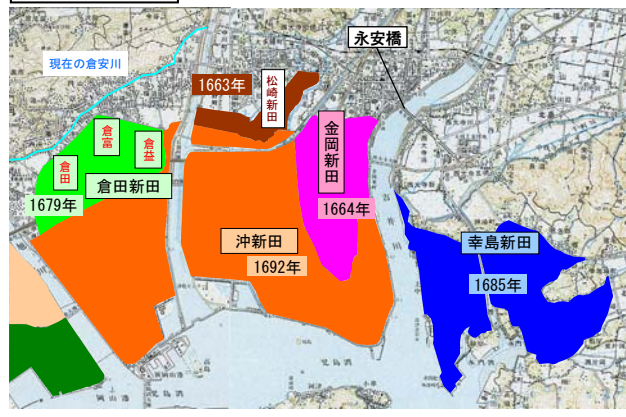
## 流域及び氾濫域の諸元

流域面積	: 2,110km <sup>2</sup>
幹川流路延長	: 133km
流域内人口	: 約29万人
想定はん濇区域面積	: 189km <sup>2</sup>
想定はん濇区域内人口	: 約14万人
想定はん濇区域内資産額	: 約3兆円
主な関係市町村	: 岡山市、津山市

## 地形特性（下流部）

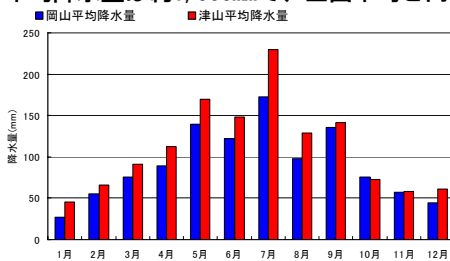
河口から永安橋（5k0）までは、新田開発を目的とした干拓（江戸時代）により形成された低平地が広がり、一度氾濇すると甚大な被害が発生

### 新田開発概要図



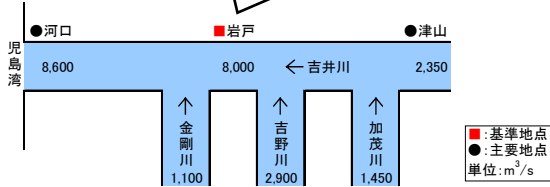
## 降雨特性

年平均降水量は約1,600mmで、全国平均と同程度

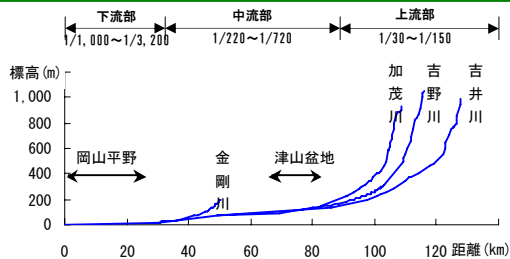


## 計画高水流量配分図

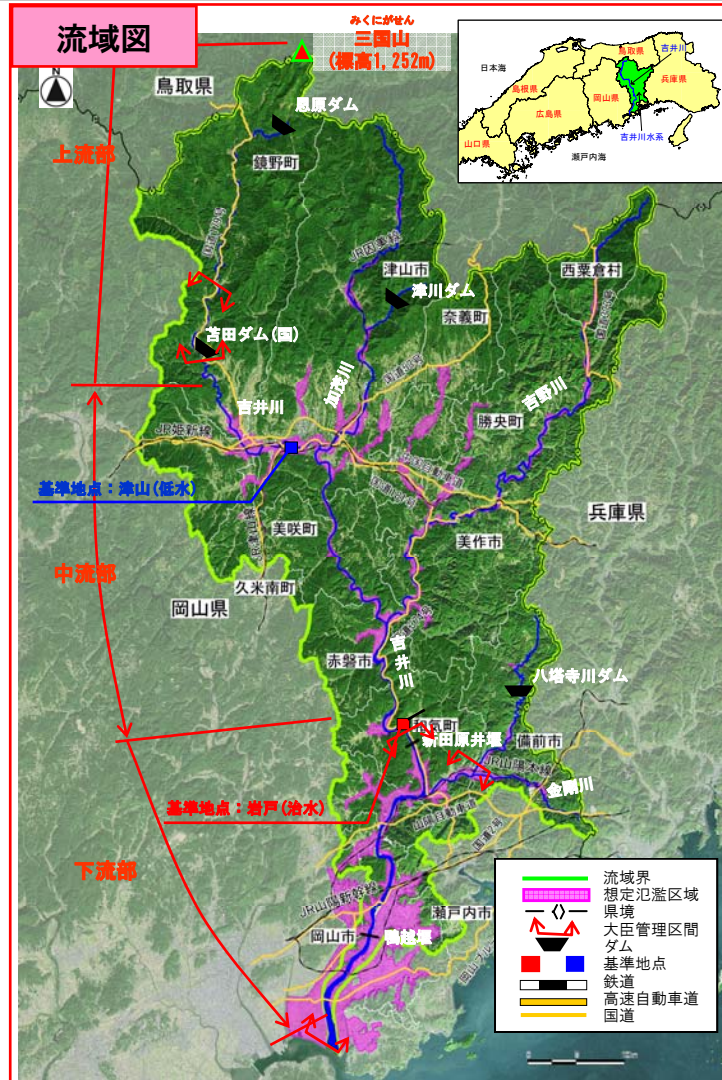
基本高水ピーク流量11,000m<sup>3</sup>/s



## 河床勾配



## 流域図

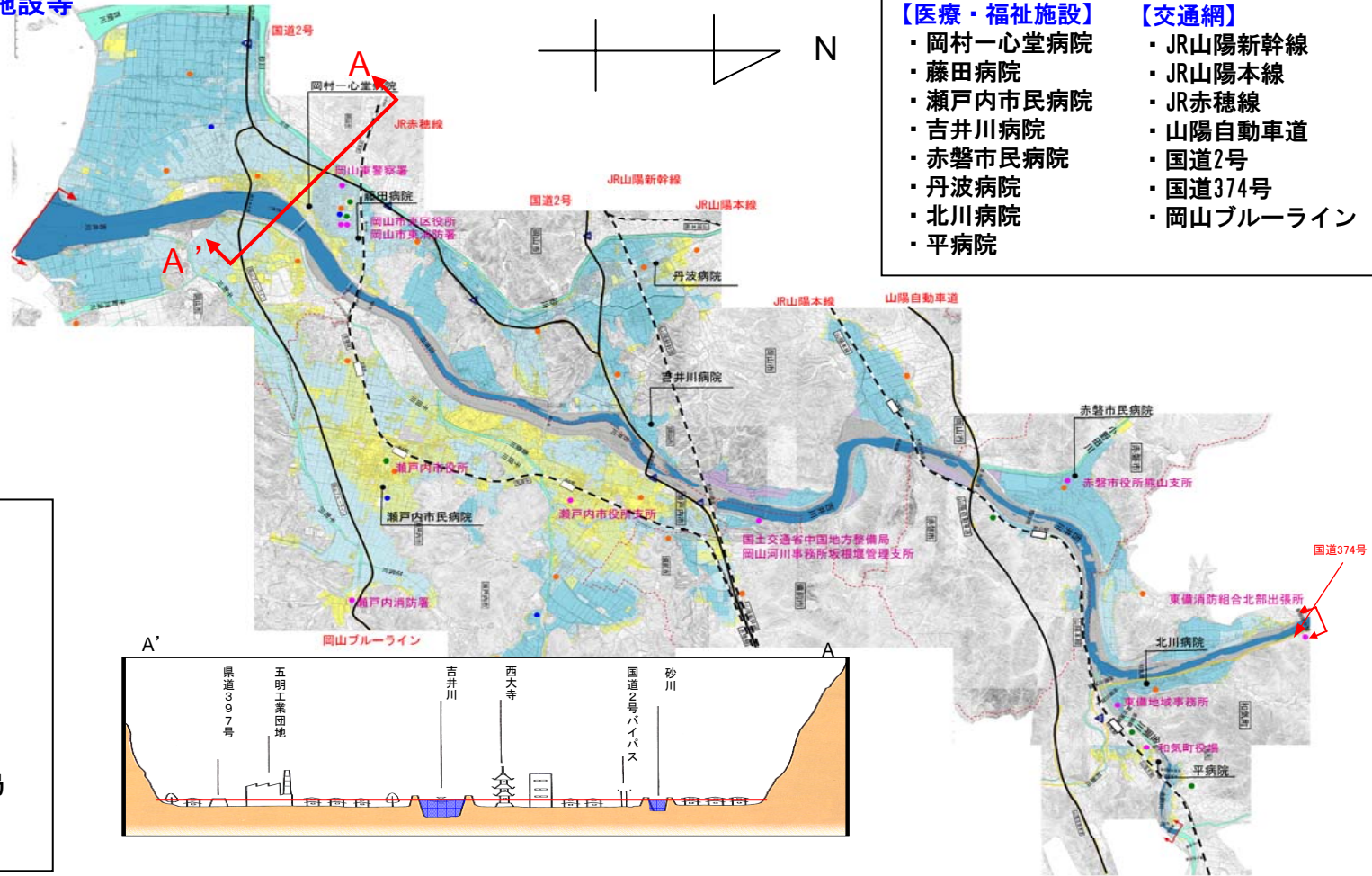


- 明治以降、陸上交通の発展に伴い山陰と近畿を結ぶ交通の要路が発達し、山陽自動車道、国道2号、JR山陽新幹線、JR山陽本線等が整備され交通の要衝
- 下流部の児島湾周辺は、江戸時代からの干拓地が広がり、古くから農業が盛んな地域であるとともに、岡山県南新産業都市の指定を受け、繊維工業等を中心に発展してきており、岡山県東部における社会・経済・文化の基盤を形成
- 下流部は、ゼロメートル地帯が広がっており、一度氾濫すると広範囲に浸水域が広がるだけでなく、内水や高潮によっても浸水するため、重大な被害が発生

## はん濫域内の重要な公共施設等

### 凡例

- : 行政機関
- : 医療・福祉施設
- : 小学校
- : 中学校
- : 高校



■過去の主な水害としては、吉井川激甚災害対策特別緊急事業採択の契機となった昭和51年9月洪水、平成2年9月洪水、平成10年10月洪水などが挙げられる。

## 【主な洪水被害】

発 生 年 月 日	2日雨量 (mm)	最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	発生原因	被害状況	備 考
昭和9年9月21日	174	3,900	室戸台風	被災家屋 8,092戸	
昭和20年9月18日	226	7,600	枕崎台風	死者・行方不明者 92名 被災家屋 14,798戸	
昭和38年7月11日	162	5,600	梅雨前線	死者・行方不明者 2名 全壊流失 40戸 床上浸水 4,501戸 床下浸水 375戸	
昭和40年7月22日	171	4,000	梅雨前線	死者・行方不明者 5名 被災家屋 4,126戸	
昭和47年7月9日	272	5,000	梅雨前線	死者・行方不明者 3名 全壊流失 13戸 床上浸水 720戸 床下浸水 2,329戸	
昭和51年9月10日	256	4,200	台風17号	死者・行方不明者 6名 被災家屋 13,759戸	岡山県全域
昭和54年10月19日	206	4,800	台風19号	死者・行方不明者 2名 全半壊流失 101戸 床上浸水 584戸 床下浸水 728戸	
平成2年9月19日	262	5,200	台風19号	全半壊流失 5戸 床上浸水 1,491戸 床下浸水 4,694戸	
平成10年10月18日	174	8,000	台風10号	全半壊流失 14戸 床上浸水 3,229戸 床下浸水 2,661戸	
平成16年9月29日	155	5,400	台風21号	床上浸水 140戸 床下浸水 683戸	
平成18年7月19日	169	4,200	梅雨前線	床上浸水 1戸 床下浸水 4戸	

※1：発生日は最大流量の観測日である。  
 ※2：流量は岩戸地点流量である。  
 ※3：被害状況は水害統計等による。

### 昭和51年9月洪水（台風17号）

- 大型台風の接近に伴い前線が活発化
- 吉井川下流域を中心に浸水
- 吉井川激甚災害対策特別緊急事業（第1回）採択の契機となる

出水被害状況	
流量 (岩戸地点)	4,200m <sup>3</sup> /s
被災家屋	13,759戸
死者 行方不明者	6名



瀬戸内市長船町の浸水状況

(岡山県全域)

### 平成2年9月洪水（台風19号）

- 台風の影響により流域の南東部に雨が集中
- 千田川・千町川流域では低地一体が4日間にわたり内水により浸水し、甚大な被害が発生
- 吉井川激甚災害対策特別緊急事業（第3回）採択の契機となる

出水被害状況	
流量 (岩戸地点)	5,200m <sup>3</sup> /s
全半壊流失	5戸
床下浸水	4,694戸
床上浸水	1,491戸



瀬戸内市長船町の浸水状況

### 平成10年10月洪水（台風10号）

- 2日雨量が174mmに達し、中上流域を中心に洪水被害が発生
- 吉井川激甚災害対策特別緊急事業（第4回）採択の契機となる

出水被害状況	
流量 (岩戸地点)	8,000m <sup>3</sup> /s
全半壊流失	14戸
床下浸水	2,661戸
床上浸水	3,229戸



赤磐市福田の浸水状況

# 事業の整備目標(案)・整備期間(案)・実施内容(案)

吉井川水系においては、河川整備計画が未策定のため、戦後最大規模の洪水が発生した場合にも浸水被害の防止を図ることを想定し、今後20年間で実施可能な整備内容を設定

## ■整備目標(案)

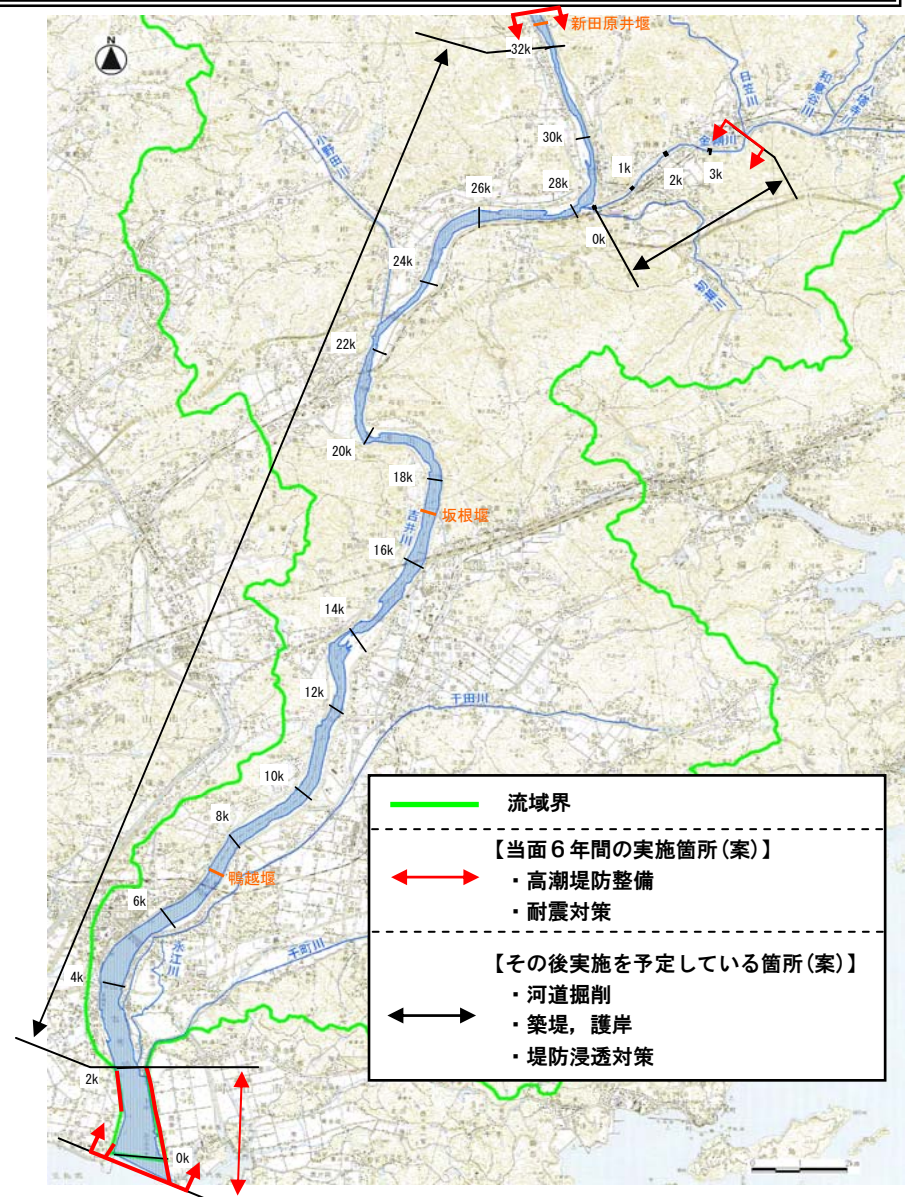
戦後最大洪水である、平成10年10月洪水が再び発生した場合でも、浸水を防止する

## ■整備期間(案)

目標を達成する上での事業量等を勘案し、概ね20年間で整備期間として設定

## ■実施内容(案)

整備期間内に目標を達成するために必要な事業箇所を選定

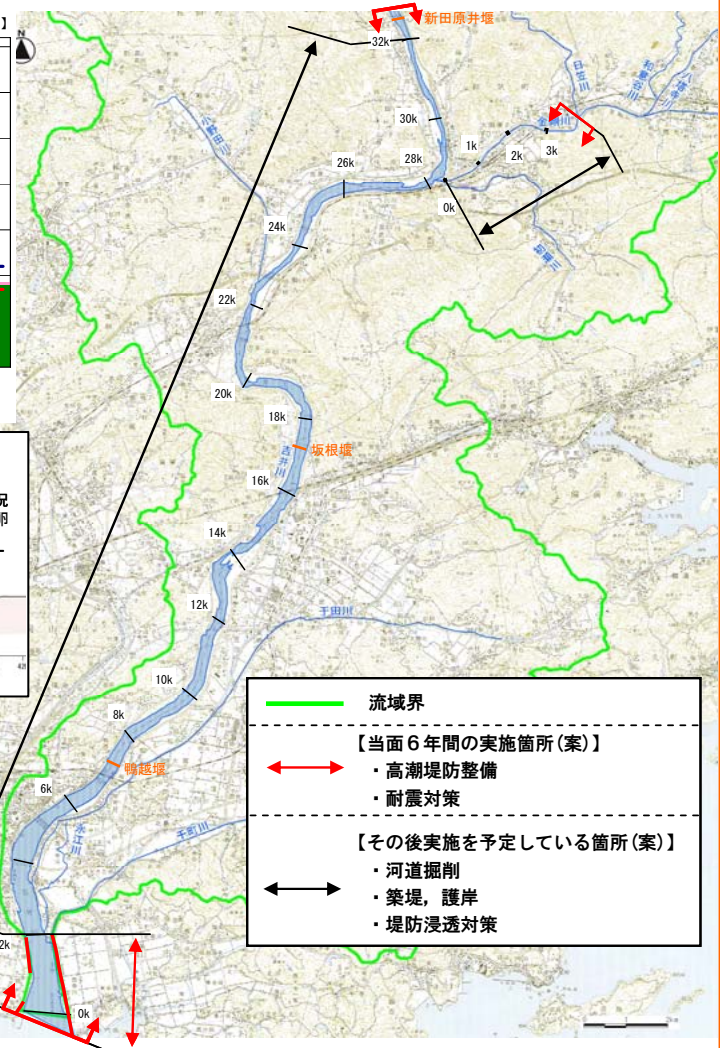
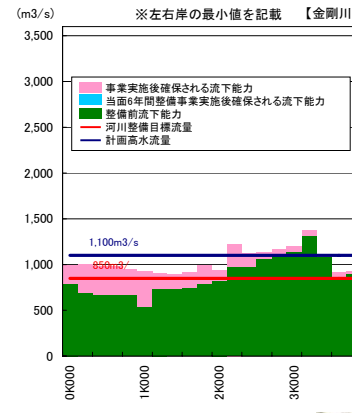
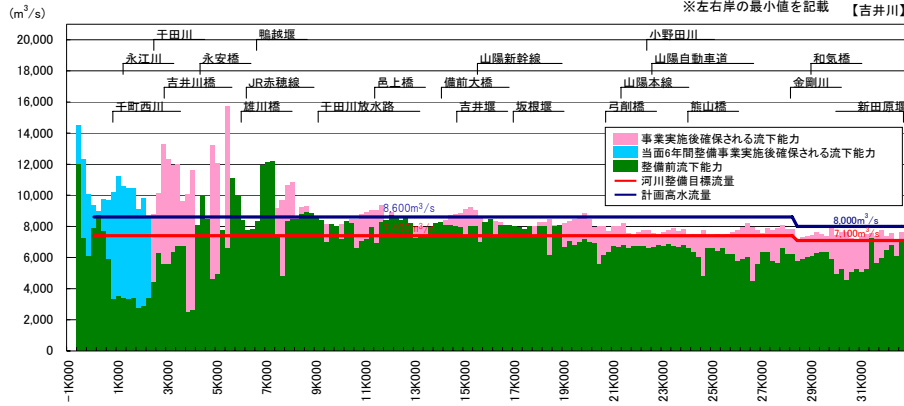




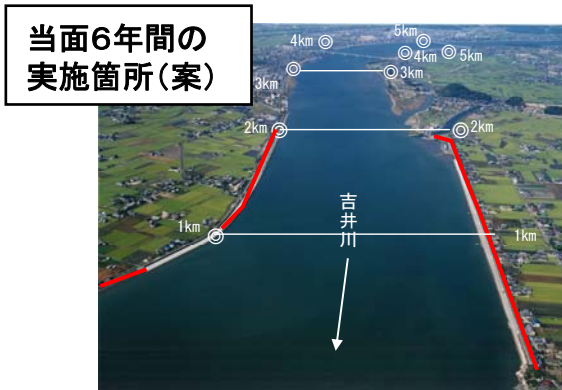
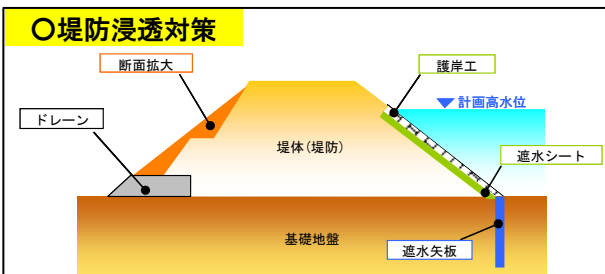
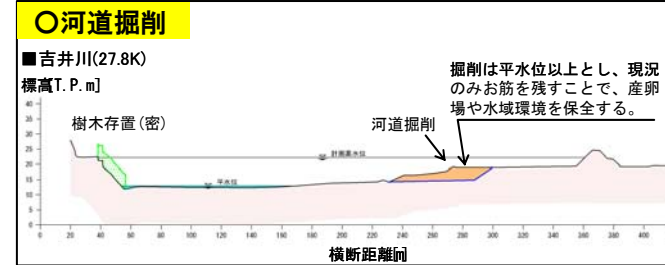
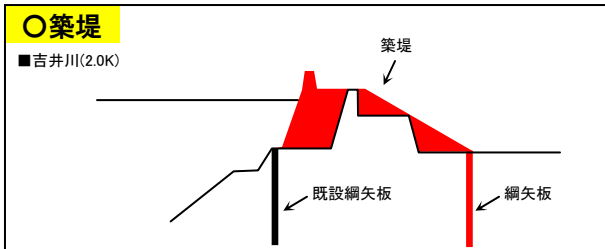
■吉井川における主な事業内容(案)は、堤防高不足区間等の築堤・護岸、河道掘削、堤防浸透対策を予定

## 築堤・河道掘削・堤防浸透対策

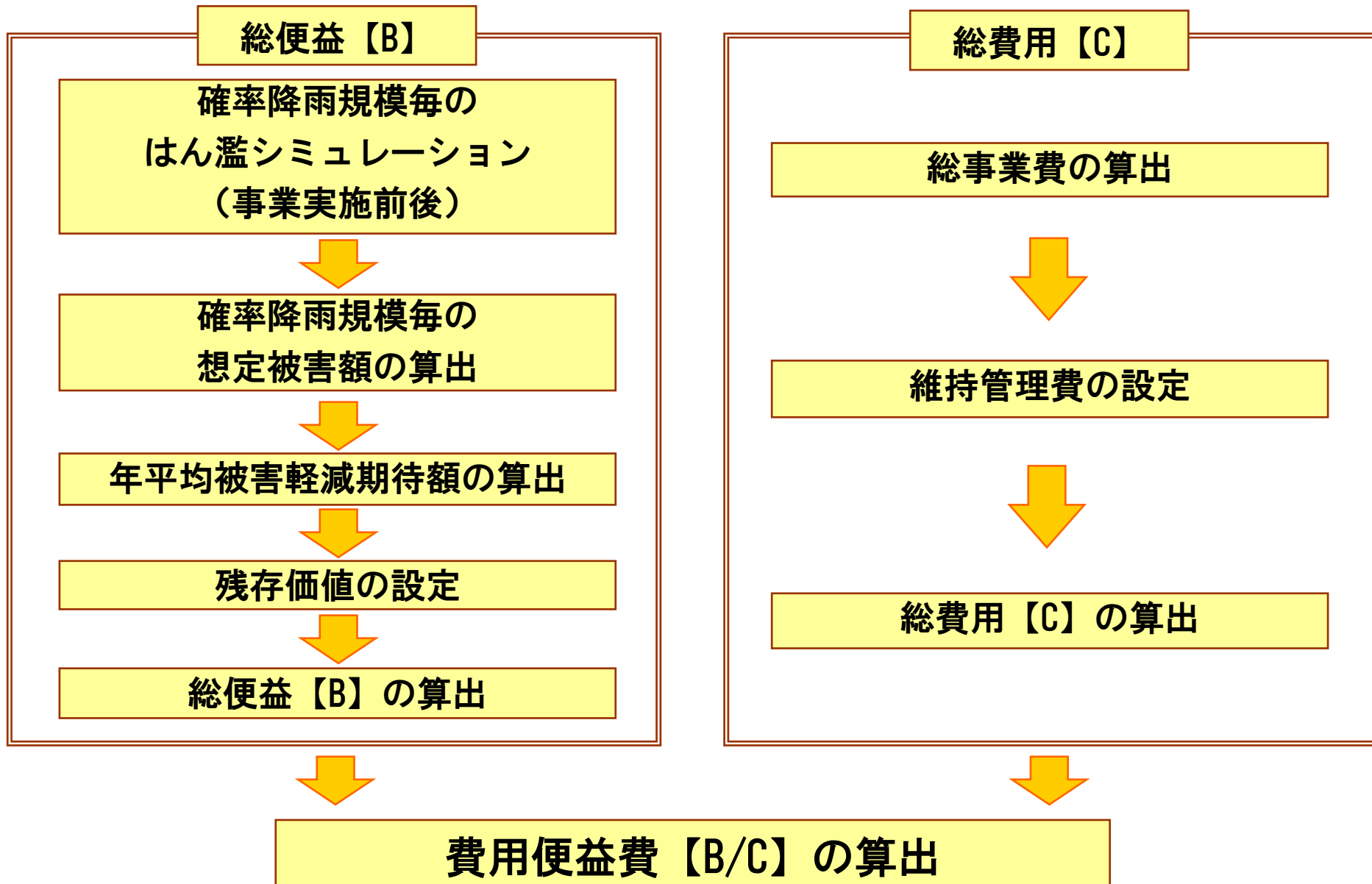
### ○流下能力図(現況⇒事業実施後)



6



## 費用便益比 (B/C) 算出の流れ



## ①便益の算出方法

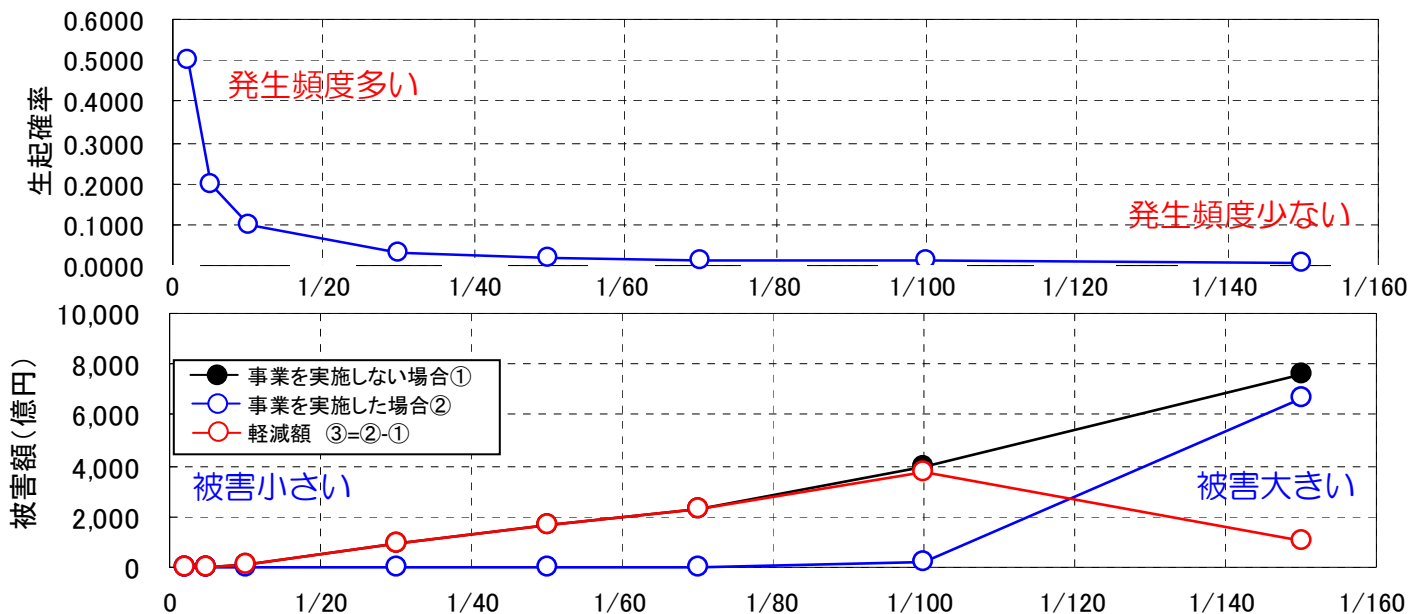
■計画規模1/150年確率を最大として8ケースを検討  
 (無害流量、1/5年、1/10年、1/30年、1/50年、1/70年、1/100年、1/150年)

■年平均被害軽減期待額 約90.9億円

**年平均被害  
軽減期待額**

単位：百万円

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①-②					
無害流量	0.5000	0	0	0	569	0.3000	171	171	
1/5	0.2000	1,138	0	1,138	5,600	0.100	560	731	
1/10	0.1000	10,061	0	10,061	51,841	0.067	3,456	4,187	
1/30	0.0333	93,621	0	93,621	129,359	0.013	1,725	5,911	
1/50	0.0200	165,096	0	165,096	196,592	0.006	1,123	7,035	
1/70	0.0143	228,089	0	228,089	299,253	0.004	1,283	8,317	
1/100	0.0100	390,168	19,750	370,418	231,763	0.003	773	9,090	
1/150	0.0067	758,635	665,528	93,108					



## ②費用便益比(B/C)の算出

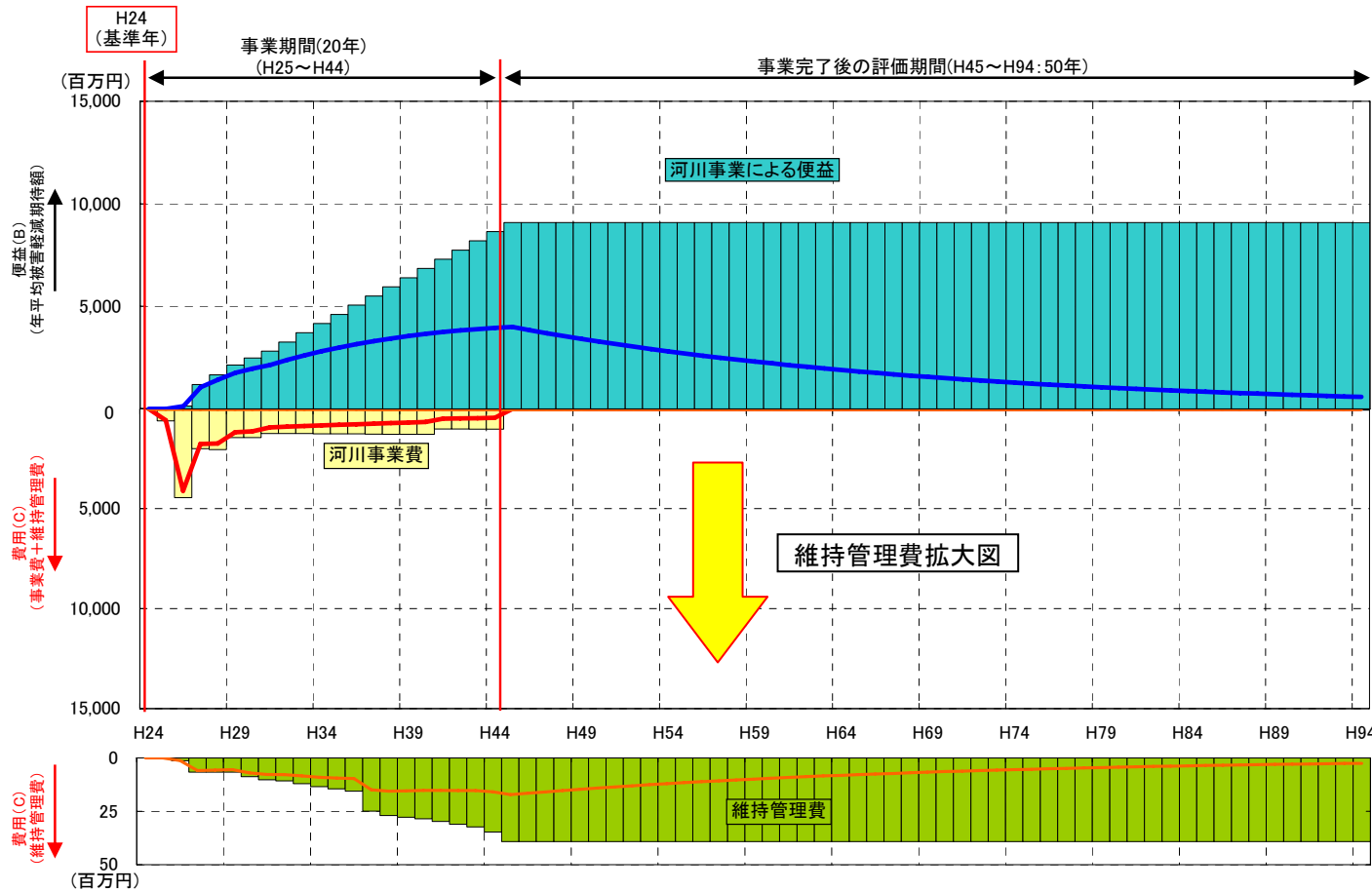
### ■便益の整理

- ・①で算出した評価期間中に発現する便益を、社会的割引率(4%)で割り引いた上で集計
- ・評価期間後に生じる残存価値を算定

### ■費用の整理

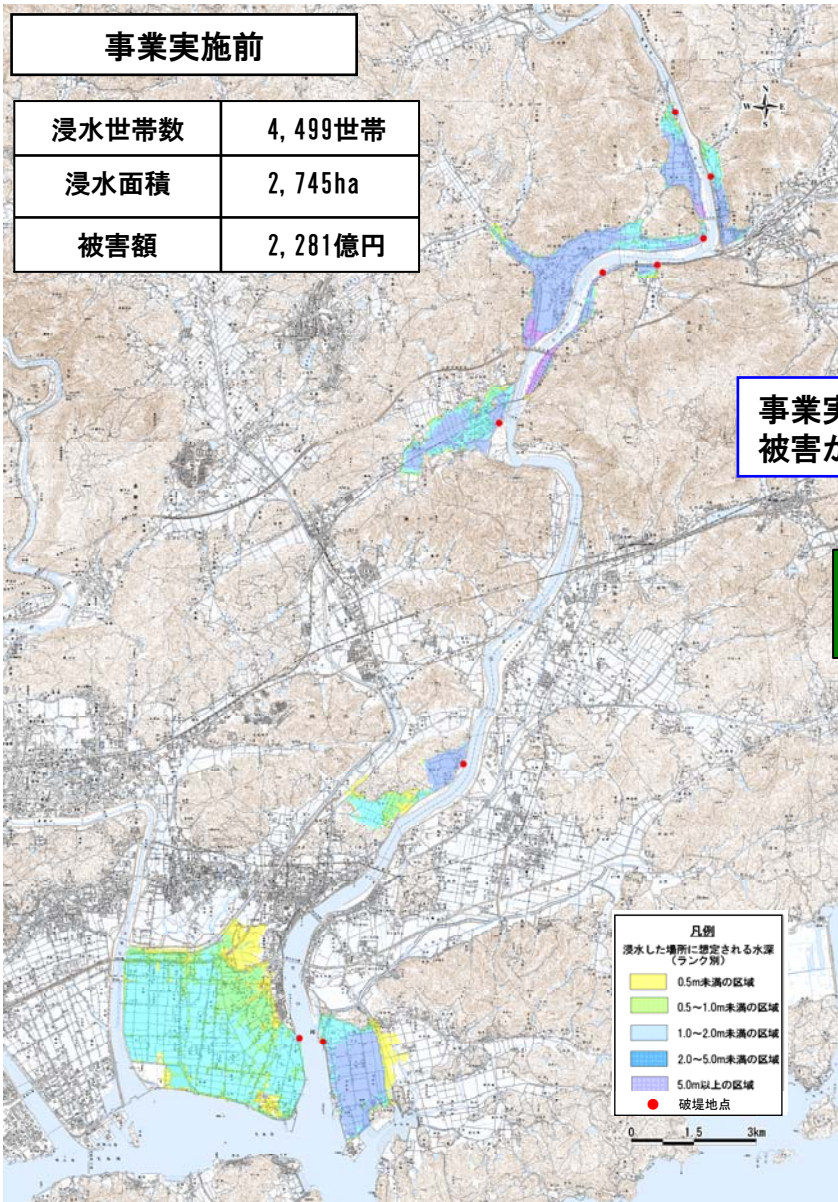
- ・今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率(4%)によって割り引いた上で集計し現在価値化

項目	全体事業
便益(B1)	1,406.7 億円
残存価値(B2)	2.9 億円
総便益(B=B1+B2)	1,409.7 億円
建設費(C1)	207.9 億円
維持管理費(C2)	5.9 億円
総費用(C=C1+C2)	213.7 億円
便益費(B/C)	6.6

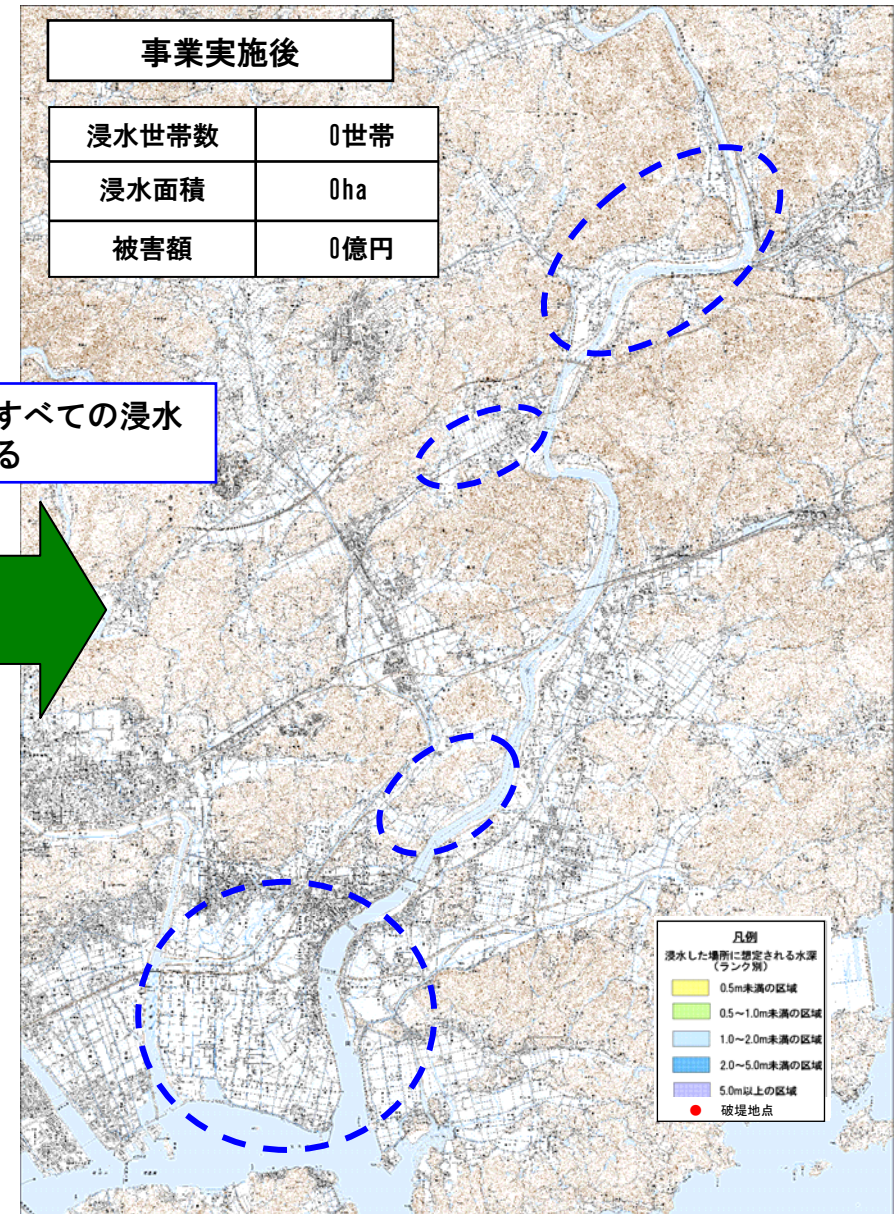
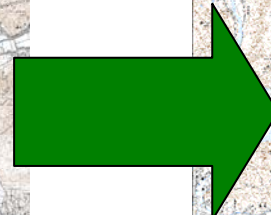


	: 便益(各年度評価)
	: 事業費(各年度評価)
	: 維持管理費(各年度評価)
	: 便益(現在価値化)
	: 事業費(現在価値化)
	: 維持管理費(現在価値化)

## (例)戦後最大洪水が再び発生した場合における事業実施後の被害軽減状況



事業実施後は、すべての浸水被害が解消される



## ① 便益の算出方法

■ 計画規模1/150年確率を最大として8ケースを検討

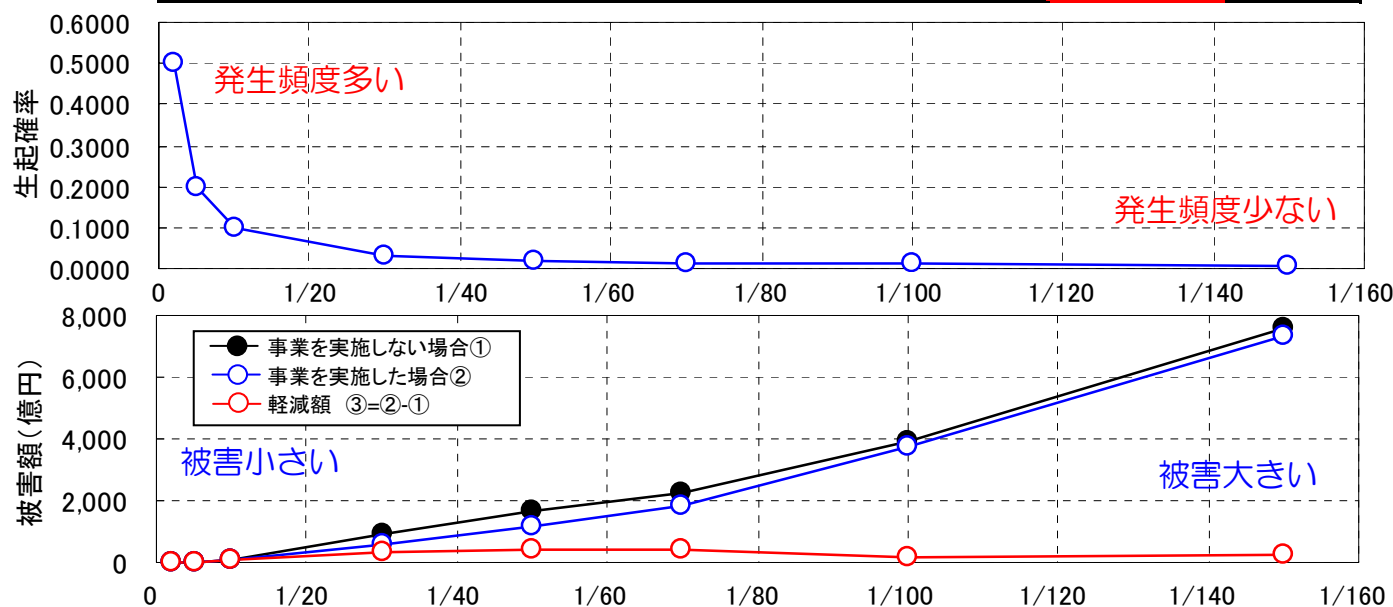
(無害流量、1/5年、1/10年、1/30年、1/50年、1/70年、1/100年、1/150年)

■ 年平均被害軽減期待額 約28.1億円

年平均被害  
軽減期待額

単位：百万円

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①-②					
無害流量	0.5000	0	0	0	402	0.300	121	121	
1/5	0.2000	1,138	334	804	3,269	0.100	327	447	
1/10	0.1000	10,061	4,327	5,734	20,611	0.067	1,374	1,822	
1/30	0.0333	93,621	58,132	35,489	40,006	0.013	533	2,355	
1/50	0.0200	165,096	120,573	44,523	44,283	0.006	253	2,608	
1/70	0.0143	228,089	184,046	44,043	31,591	0.004	135	2,743	
1/100	0.0100	390,168	371,029	19,139	20,714	0.003	69	2,812	
1/150	0.0067	758,635	736,346	22,289					



## ②費用便益比 (B/C) の算出

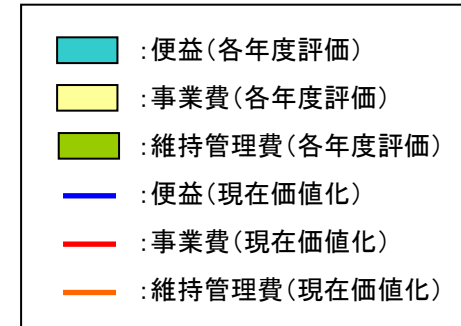
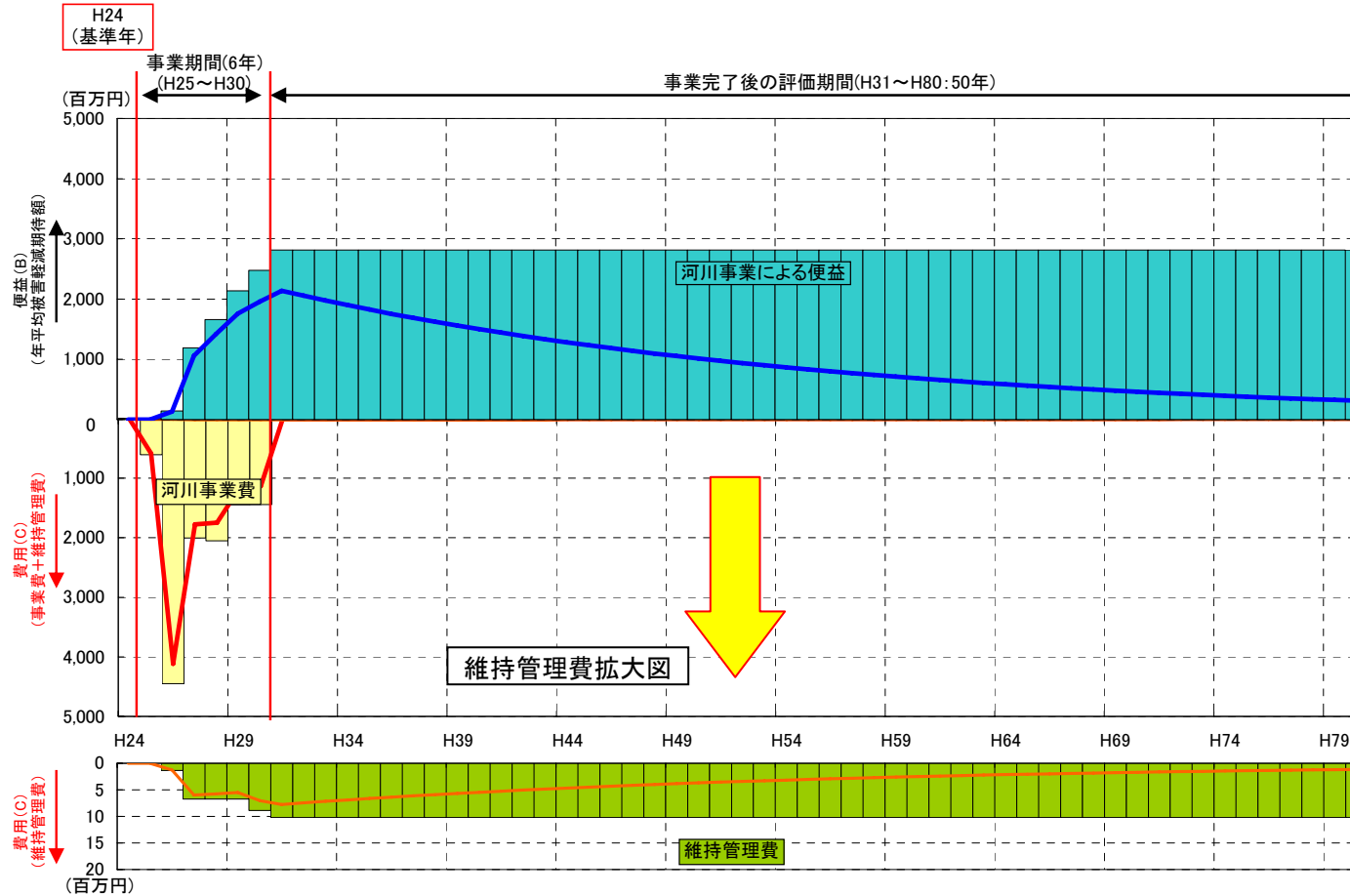
### ■便益の整理

- ・ ①で算出した評価期間中に発現する便益を、社会的割引率(4%)で割り引いた上で集計
- ・ 評価期間後に生じる残存価値を算定

### ■費用の整理

- ・ 今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率(4%)によって割り引いた上で集計し現在価値化

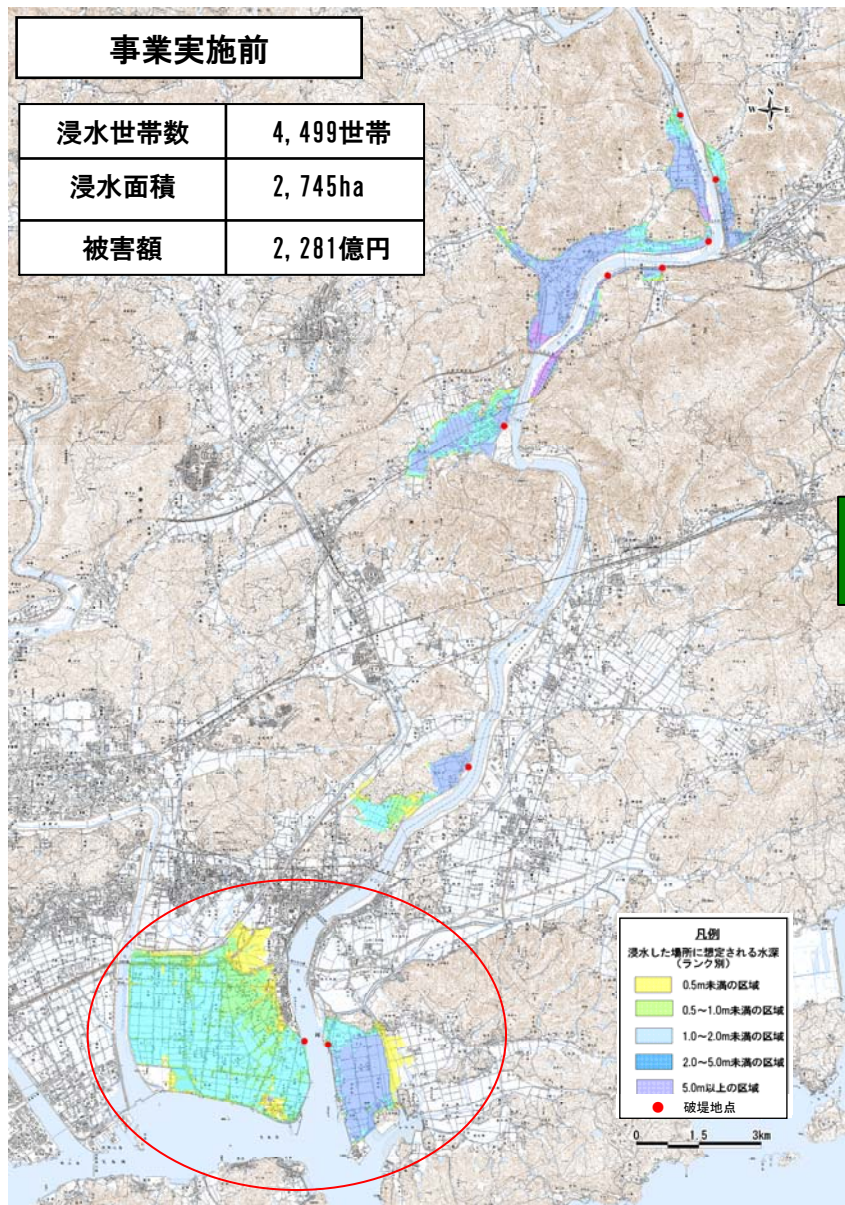
項目	当面6年間事業
便益(B1)	538.7 億円
残存価値(B2)	0.6 億円
総便益(B=B1+B2)	539.2 億円
建設費(C1)	110.6 億円
維持管理費(C2)	2.0 億円
総費用(C=C1+C2)	112.6 億円
便益費(B/C)	4.7



## (例) 戦後最大洪水が再び発生した場合における当面6年間の事業実施後の被害軽減状況

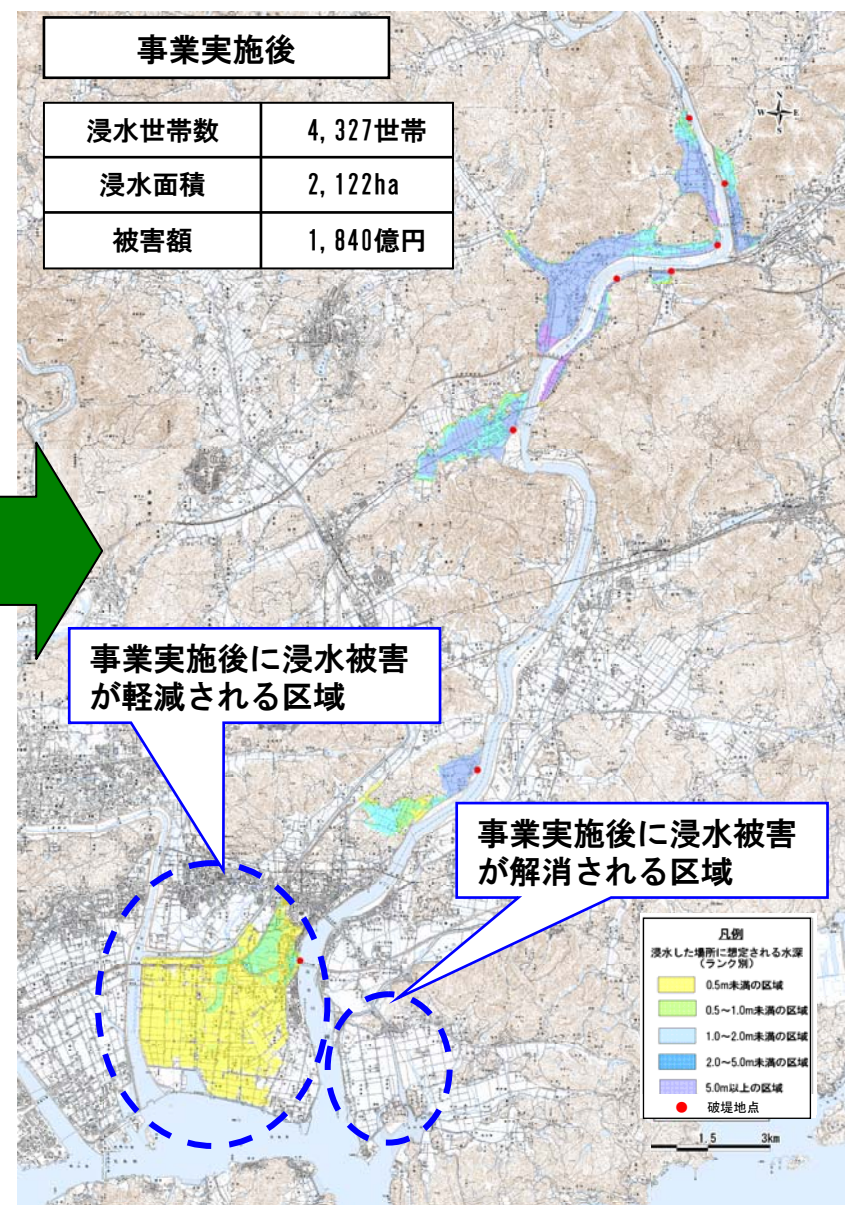
### 事業実施前

浸水世帯数	4,499世帯
浸水面積	2,745ha
被害額	2,281億円



### 事業実施後

浸水世帯数	4,327世帯
浸水面積	2,122ha
被害額	1,840億円





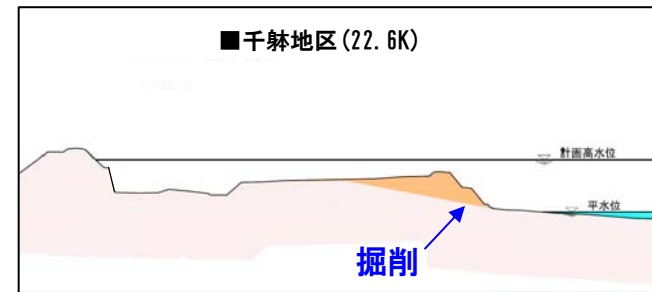
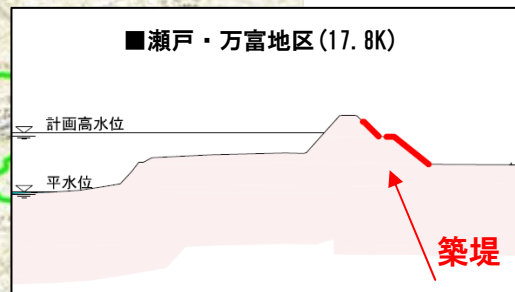
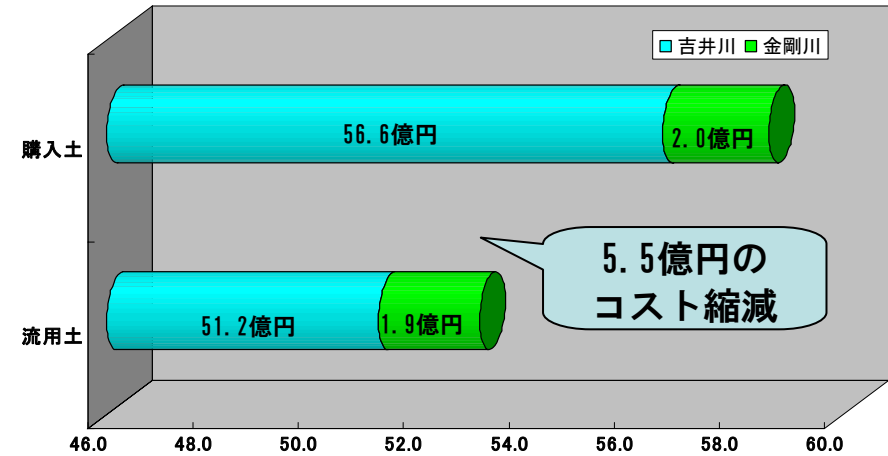
## 発生土の現場内処理等による再利用の促進

吉井川の河道整備に伴い、河道掘削及び浚渫により発生した土を吉井川本川の築堤材料として再利用することにより、盛土材の購入費用と残土処分費用のコスト削減を図る。

5地先（弓削地先、千駄地先、益原地先、熊山地先、田原地先）と金剛川については、流用土で改修した場合と購入土を利用した場合で事業費比較を行った結果、差が約5.5億円となる。

よって、約5.5億円のコスト削減となる。

（吉井川：5.4億円、金剛川：0.1億円）



築堤     
 掘削

## 1. 再評価の視点

### ①事業の必要性等の視点

#### 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 流域内の人口に大きな変化は見られない。
- 沿川は岡山市街地として高度な土地利用が進んでいる
- 岡山市は平成21年4月に政令指定都市に移行

#### 2) 事業の投資効果

- 当面6年間で実施を予定している事業の費用対効果(B/C) = 4.7
- 吉井川直轄河川改修事業(20年間)の費用対効果(B/C) = 6.6

#### 3) 事業の進捗状況

- 河口部の九幡箇所においては、事業着手しており順調に進捗している

### ②事業の進捗の見込み

- これまでのところ事業は順調に進捗。地域住民からは引き続き河川改修事業を要望されており、関係機関等との協力体制も構築されていることから、今後も円滑な事業進捗が見込まれる

### ③コスト縮減や代替案立案等の可能性

- 環境に配慮して事業を進め、より一層事業効果の発現を図るとともに、今後河道掘削が主な工種となることから、圏域で実施される本事業他工区への建設残土の流用等により、さらなるコスト縮減に努める。
- 現在、河川整備計画の策定作業中であり、有識者及び地域住民からの意見を踏まえつつ、関係機関と協議・調整を図りながらコスト縮減や事業の効果・効率性等を考慮して、整備内容を定める

## 2. 県への意見照会結果

- 妥当である

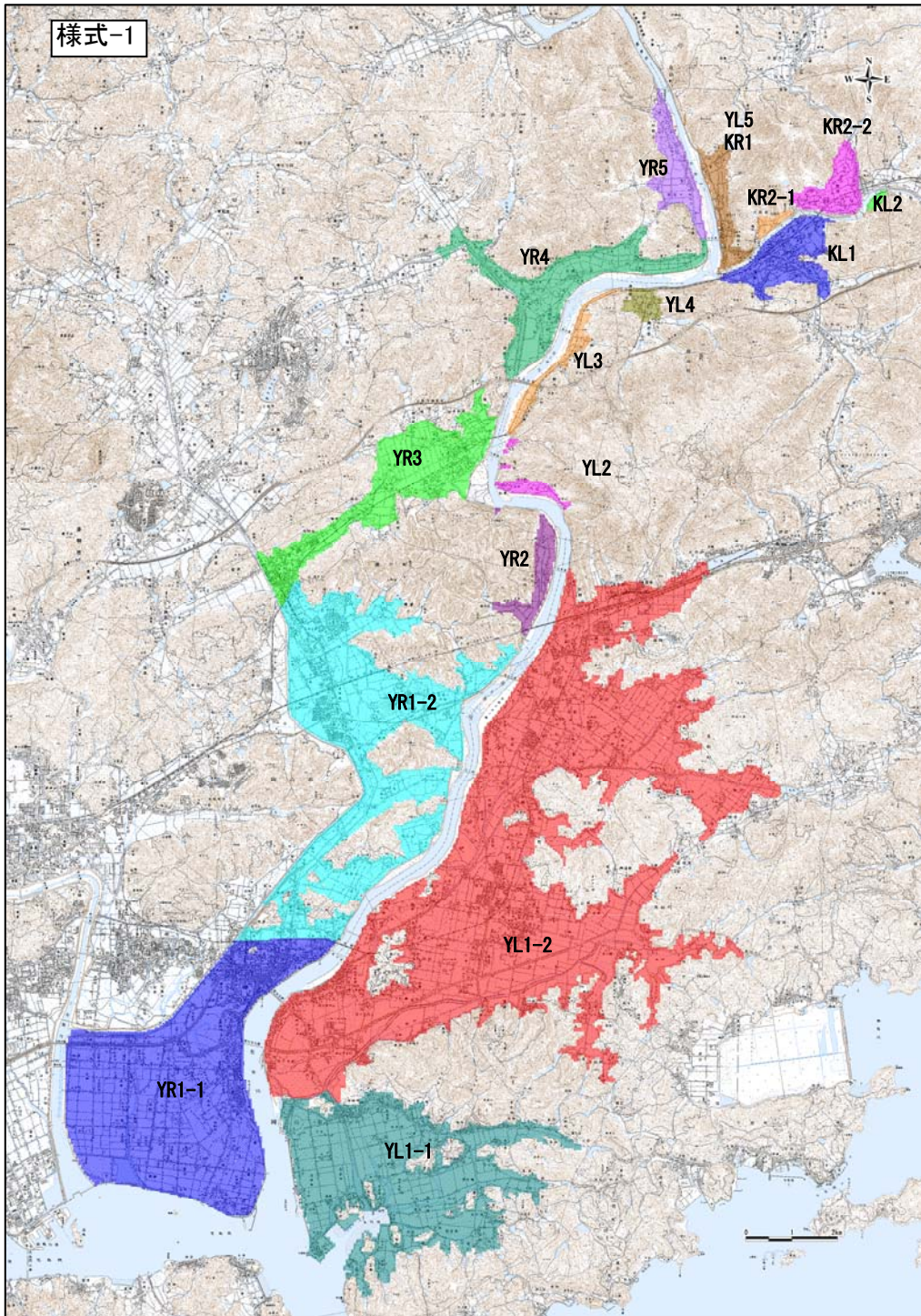
### 【今後の対応方針(原案)】

- 上記より、吉井川の治水安全度向上のため**事業継続が妥当**
- 治水安全度向上の必要性、費用対効果、地元の協力体制等を鑑み、継続が妥当
- 早期の治水安全度向上に向け、引き続き事業の推進を図り、早期に完成させることが必要
- 今後の詳細な設計段階において更なるコスト縮減を図るとともに、環境にも配慮して事業を進め、より一層の事業効果の発現に努める

◆事業費、工期、資産を個別に±10%変動させて、費用対便益比(B/C)を算定し、感度分析を行った。

	吉井川直轄河川改修事業の費用対便益比(B/C)						
	基本	事業費		工期		資産	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
全体事業	6.6	6.0	7.3	6.5	6.5	7.2	5.9
当面6年間の事業	4.7	4.3	5.3	4.8	4.7	5.2	4.3

吉井川直轄河川改修事業  
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕



様式-2 資産データ 水系名: 吉井川 河川名: 吉井川・金剛川 国勢調査年: 平成17年(平成22年発行) 事業所統計調査年: 平成18年(平成23年発行) 金額は百万円

氾濫ブロック	ブロック面積 (ha)	一般資産等基礎数量								一般資産額							農作物資産			一般資産額等 合計
		人口 (人)	世帯数 (世帯)	事業所 (社)	従業者数 (産業別類別に算出) (人)	農漁家数 (世帯)	延床面積 (m2)	水田面積 (a)	畑面積 (a)	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	
												償却	在庫	償却	在庫					
YR1-1	1732.50	19,167	6,880	971	10,065	396	1,077,641	100,800	1,000	174,793	100,811	50,724	22,750	714	186	349,978	1,135	24	1,159	351,137
YR1-2	1475.75	15,778	5,397	539	5,493	345	1,001,299	86,675	6,975	162,411	79,079	22,927	11,868	621	162	277,067	976	170	1,145	278,213
YR2	100.25	279	97	5	23	32	23,923	7,350	625	3,880	1,418	83	95	58	15	5,549	83	15	98	5,647
YR3	540.75	6,519	2,428	284	2,842	157	562,185	27,100	1,700	91,186	35,575	11,065	5,414	284	74	143,599	305	41	346	143,945
YR4	437.00	1,906	591	107	1,126	95	138,923	28,800	300	22,533	8,653	4,284	3,278	172	45	38,966	324	7	331	39,297
YR5	149.00	520	175	8	41	16	50,647	8,950	775	8,215	2,558	160	143	28	7	11,111	101	19	120	11,231
YL1-1	1317.00	6,691	2,075	213	1,913	301	337,470	85,275	4,650	54,738	30,410	6,893	4,493	542	141	97,217	960	113	1,073	98,290
YL1-2	4130.75	31,661	10,355	1,045	13,220	959	2,565,302	266,325	9,775	416,092	151,735	55,808	34,253	1,728	450	660,065	2,998	238	3,236	663,301
YL2	44.50	235	85	1	17	18	19,684	900	1,275	3,193	1,239	24	59	33	9	4,557	10	31	41	4,598
YL3	76.75	387	79	11	23	12	23,307	2,525	0	3,780	1,162	72	43	21	5	5,084	28	0	28	5,112
YL4	44.50	180	51	0	0	11	14,030	3,550	50	2,276	747	0	0	20	5	3,048	40	1	41	3,089
YL5	104.75	1,525	484	81	884	18	125,540	4,250	350	20,363	7,088	2,578	1,037	33	9	31,107	48	9	56	31,163
KR1	104.75	1,525	484	81	884	18	125,540	4,250	350	20,363	7,088	2,578	1,037	33	9	31,107	48	9	56	31,163
KR2-1	22.00	246	88	2	28	3	26,060	800	0	4,227	1,294	53	34	6	2	5,616	9	0	9	5,625
KR2-2	121.75	1,408	496	23	197	26	114,213	7,250	100	18,525	7,261	474	331	47	12	26,650	82	2	84	26,734
KL1	215.00	3,936	1,394	214	1,449	64	289,397	11,100	125	46,940	20,426	4,555	2,221	116	30	74,288	125	3	128	74,416
KL2	9.25	0	0	5	57	0	2,719	125	0	441	0	238	244	0	0	923	1	0	1	924

様式-3 被害額(事業実施前)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(平成24年度末河道)

1/5

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額								農作物被害額			公共土木 施設等被害額	間接被害額					合計	
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	営業停 止 損失		家庭における 応急対策費用		事業所 における 応急対 策費用	その 他の 間接被 害	小計		
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等					
YR1-1	186	75	73	42	0	0	377	41	3	43	639	34	11	21	32	12	0	78	1,138
YR1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	186	75	73	42	0	0	377	41	3	43	639	34	11	21	32	12	0	78	1,138

様式-3 被害額(事業実施前)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(平成24年度末河道)

1/10

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額								農作物被害額			公共土木 施設等被害額	間接被害額					合計	
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	営業停 止 損失		家庭における 応急対策費用		事業所 における 応急対 策費用	その 他の 間接被 害	小計		
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等					
YR1-1	1,482	896	669	288	18	6	3,358	190	5	195	5,689	223	64	119	183	81	0	487	9,730
YR1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-1	63	34	4	3	0	0	105	33	0	33	177	2	5	9	14	1	0	17	332
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,546	930	673	291	18	6	3,463	223	6	228	5,866	225	69	128	197	82	0	504	10,061

様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(平成24年度末河道) 1/30 単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額							農作物被害額			公共土木 施設等被害額	間接被害額							合計
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計		営業停 止 損失	家庭における 応急対策費用			事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間接被 害	小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等	小計				
YR1-1	3,788	3,761	1,866	785	73	26	10,299	293	7	300	17,447	465	150	253	403	198	0	1,066	29,112
YR1-2	63	29	104	6	0	0	201	0	0	0	340	4	1	1	2	2	0	9	549
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	1,350	702	705	315	7	2	3,081	39	0	39	5,219	168	30	51	81	46	0	296	8,634
YR4	1,743	1,274	1,727	1,249	23	8	6,023	90	0	90	10,203	376	45	56	101	87	0	564	16,881
YR5	642	575	32	21	3	1	1,275	28	0	28	2,160	6	21	22	44	10	0	60	3,523
YL1-1	1,921	2,584	650	413	29	12	5,610	91	1	93	9,503	120	99	103	202	72	0	394	15,599
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
YL5	2,321	1,606	1,255	303	2	1	5,487	7	1	8	9,295	263	59	70	130	155	0	548	15,338
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL1	581	423	286	93	0	0	1,383	9	1	10	2,343	92	24	39	63	91	0	246	3,982
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12,408	10,954	6,624	3,184	137	51	33,358	562	9	572	56,509	1,495	430	596	1,026	661	0	3,182	93,621

様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(平成24年度末河道) 1/50 単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額							農作物被害額			公共土木 施設等被害額	間接被害額							合計
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計		営業停 止 損失	家庭における 応急対策費用			事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間接被 害	小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等	小計				
YR1-1	4,619	5,355	2,421	1,016	88	33	13,533	332	8	340	22,925	560	192	305	496	258	0	1,314	38,112
YR1-2	95	43	125	8	0	0	271	0	0	0	460	5	2	1	3	3	0	11	743
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	3,718	2,766	2,042	1,076	18	7	9,627	49	0	49	16,308	357	100	116	215	161	0	733	26,717
YR4	5,314	3,093	2,792	2,133	48	17	13,397	101	0	101	22,694	662	112	93	205	280	0	1,146	37,338
YR5	1,235	1,029	67	45	7	3	2,386	33	1	34	4,042	13	36	36	72	17	0	102	6,564
YL1-1	2,072	2,761	675	430	31	13	5,982	91	1	93	10,133	126	104	108	212	78	0	415	16,622
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL4	9	2	0	0	0	0	11	5	0	5	19	0	0	0	1	0	0	1	35
YL5	3,997	2,519	1,725	512	3	1	8,756	11	1	12	14,833	379	93	92	185	256	0	820	24,421
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	213	122	0	0	0	0	336	3	0	3	570	0	5	5	9	0	0	9	918
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL1	1,913	1,776	828	283	2	1	4,804	14	1	15	8,137	223	75	104	180	267	0	670	13,626
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	23,186	19,466	10,674	5,504	198	75	59,103	640	11	651	100,120	2,325	718	860	1,578	1,320	0	5,222	165,096



様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(平成24年度末河道) 1/70 単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木 施設等被 害額	間接被害額						合計		
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物		小計	営業停 止 損失	家庭における 応急対策費用		事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間 接 被 害		小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働 対 価	代替 活動 等					
YR1-1	5,097	6,090	2,665	1,123	96	37	15,108	351	8	359	25,592	608	214	330	543	286	0	1,437	42,496
YR1-2	1,488	971	5	0	25	8	2,496	46	16	62	4,229	1	36	25	61	7	0	69	6,856
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	5,297	3,551	2,674	1,544	22	9	13,097	52	0	52	22,187	458	133	138	270	224	0	952	36,288
YR4	7,856	4,087	3,037	2,375	64	21	17,440	106	0	106	29,543	814	146	109	255	387	0	1,456	48,545
YR5	2,129	1,389	91	64	10	3	3,687	35	1	36	6,245	19	50	42	92	26	0	137	10,105
YL1-1	2,299	2,919	711	460	32	13	6,434	98	1	100	10,900	135	111	114	225	85	0	445	17,879
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	744	315	16	10	6	2	1,092	10	0	10	1,850	5	11	8	19	15	0	40	2,992
YL4	18	6	0	0	0	0	25	5	0	5	42	0	0	1	1	0	0	1	72
YL5	6,807	3,855	2,035	666	6	2	13,370	14	1	15	22,649	525	140	113	253	359	0	1,137	37,171
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	383	196	0	0	1	0	580	3	0	3	982	0	7	6	13	0	0	13	1,578
KR2-2	291	303	5	3	1	1	605	1	0	1	1,025	2	11	12	23	5	0	30	1,661
KL1	3,212	3,008	1,275	453	6	2	7,955	17	1	18	13,476	313	121	147	268	417	0	998	22,447
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	35,623	26,689	12,513	6,698	268	98	81,889	738	27	765	138,720	2,880	978	1,045	2,024	1,811	0	6,714	228,089

様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(平成24年度末河道) 1/100 単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木 施設等被 害額	間接被害額						合計		
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物		小計	営業停 止 損失	家庭における 応急対策費用		事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間 接 被 害		小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働 対 価	代替 活動 等					
YR1-1	11,249	13,011	12,156	2,468	28	11	38,923	183	1	184	65,936	1,843	507	732	1,239	1,023	0	4,105	109,147
YR1-2	6,497	6,249	2,319	1,075	53	21	16,214	227	26	253	27,467	597	248	336	584	325	0	1,506	45,440
YR2	333	205	30	26	5	2	601	23	4	27	1,018	7	8	8	16	10	0	33	1,679
YR3	7,978	5,225	2,962	1,817	30	11	18,023	55	0	55	30,531	552	189	164	353	310	0	1,215	49,824
YR4	10,424	4,777	3,181	2,521	75	23	21,002	109	0	109	35,577	950	176	123	300	419	0	1,668	58,356
YR5	3,073	1,672	110	81	12	4	4,951	35	1	36	8,388	23	61	47	108	33	0	164	13,539
YL1-1	2,502	3,071	754	496	34	14	6,870	138	1	139	11,638	153	118	123	241	98	0	492	19,139
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	896	338	17	10	6	2	1,269	10	0	10	2,150	5	12	9	21	17	0	43	3,472
YL4	32	11	0	0	0	0	44	6	0	6	74	0	1	1	1	0	0	1	125
YL5	10,694	5,140	2,289	847	9	3	18,983	15	1	15	32,157	719	193	132	324	443	0	1,486	52,641
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	506	244	1	0	1	0	753	3	0	3	1,276	1	9	7	16	0	0	18	2,049
KR2-2	452	417	7	5	2	1	884	2	0	2	1,498	3	15	15	30	8	0	40	2,424
KL1	4,715	4,393	1,752	635	9	4	11,507	21	1	22	19,493	407	173	187	359	544	0	1,311	32,332
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	59,352	44,752	25,579	9,982	264	96	140,024	825	35	860	237,201	5,259	1,710	1,883	3,593	3,229	0	12,082	390,168

様式-3 被害額(事業実施前) 水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(平成24年度末河道) 1/150 単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木 施設等被 害額	間接被害額						合計		
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物		小計	営業停 止 損失	家庭における 応急対策費用		事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間 接 被 害		小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働 対 価	代替 活動 等					
YR1-1	20,560	22,174	19,666	4,738	59	22	67,219	233	3	236	113,868	2,767	906	1,060	1,966	1,843	0	6,576	187,900
YR1-2	30,090	28,311	15,272	6,304	154	55	80,187	298	40	338	135,836	2,560	1,037	935	1,972	1,649	0	6,181	222,541
YR2	1,405	570	64	70	15	5	2,128	28	8	35	3,605	19	21	15	36	27	0	82	5,850
YR3	13,424	7,450	3,584	2,547	51	16	27,073	60	0	60	45,861	814	263	194	456	454	0	1,724	74,718
YR4	11,643	5,088	3,272	2,577	79	25	22,683	111	1	112	38,425	975	191	132	323	436	0	1,733	62,953
YR5	3,399	1,766	120	91	12	4	5,393	35	1	36	9,136	26	66	49	114	35	0	175	14,740
YL1-1	3,070	3,514	822	532	42	16	7,995	178	2	180	13,544	176	135	143	278	116	0	570	22,289
YL1-2	9,692	4,135	3,475	1,108	28	10	18,447	450	12	463	31,249	874	237	409	646	292	0	1,813	51,972
YL2	860	543	11	23	10	3	1,451	3	15	18	2,457	6	19	15	34	3	0	42	3,968
YL3	958	347	17	11	6	2	1,341	10	0	10	2,272	6	13	9	22	17	0	44	3,668
YL4	53	30	0	0	1	0	84	6	0	6	143	0	1	2	3	0	0	3	237
YL5	12,281	5,620	2,327	887	13	4	21,131	15	1	15	35,797	744	213	138	350	462	0	1,556	58,499
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	639	283	3	1	1	0	928	3	0	3	1,572	2	10	8	18	0	0	20	2,523
KR2-2	489	438	8	5	2	1	943	2	0	2	1,598	3	17	16	33	8	0	44	2,587
KL1	6,762	5,854	2,265	855	12	5	15,753	25	1	26	26,685	538	232	228	460	729	0	1,726	44,190
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	115,323	86,124	50,906	19,748	486	169	272,756	1,458	84	1,542	462,048	9,508	3,360	3,351	6,711	6,071	0	22,290	758,635

様式-3 被害額(当面6年間実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川

1/5

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額								農作物被害額			公共土木 施設等被 害額	間接被害額						合計
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計	営業停 止 損失		家庭における 応急対策費用			事業所 における 応急対 策費用	その 他の 間接被 害	小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等	小計				
YR1-1	54	26	24	10	0	0	114	0	0	0	193	10	4	7	11	6	0	27	334
YR1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	54	26	24	10	0	0	114	0	0	0	193	10	4	7	11	6	0	27	334

様式-3 被害額(当面6年間実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川

1/10

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額								農作物被害額			公共土木 施設等被 害額	間接被害額						合計
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計	営業停 止 損失		家庭における 応急対策費用			事業所 における 応急対 策費用	その 他の 間接被 害	小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等	小計				
YR1-1	756	349	251	118	0	0	1,475	63	1	64	2,499	110	43	81	124	56	0	290	4,327
YR1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	756	349	251	118	0	0	1,475	63	1	64	2,499	110	43	81	124	56	0	290	4,327

様式-3 被害額(当面6年間実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川

1/30

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額							農作物被害額			公共土木 施設等被害額	間接被害額						合計	
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計		営業停 止 損失	家庭における 応急対策費用			事業所 における 応急対 策費用	その 他の 間接被 害		小計
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等	小計				
YR1-1	1,582	846	535	199	2	1	3,165	150	2	152	5,361	201	83	156	239	103	0	543	9,222
YR1-2	63	29	104	6	0	0	201	0	0	0	340	4	1	1	2	2	0	9	549
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	1,350	702	705	315	7	2	3,081	39	0	39	5,219	168	30	51	81	46	0	296	8,634
YR4	1,743	1,274	1,727	1,249	23	8	6,023	90	0	90	10,203	376	45	56	101	87	0	564	16,881
YR5	642	575	32	21	3	1	1,275	28	0	28	2,160	6	21	22	44	10	0	60	3,523
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
YL5	2,321	1,606	1,255	303	2	1	5,487	7	1	8	9,295	263	59	70	130	155	0	548	15,338
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL1	581	423	286	93	0	0	1,383	9	1	10	2,343	92	24	39	63	91	0	246	3,982
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,282	5,455	4,644	2,185	37	13	20,615	328	4	331	34,921	1,111	264	396	660	494	0	2,265	58,132

様式-3 被害額(当面6年間実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川

1/50

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額							農作物被害額			公共土木 施設等被害額	間接被害額						合計	
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計		営業停 止 損失	家庭における 応急対策費用			事業所 における 応急対 策費用	その 他の 間接被 害		小計
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等	小計				
YR1-1	1,721	940	628	217	2	1	3,509	162	2	165	5,945	223	89	167	256	112	0	592	10,211
YR1-2	95	43	125	8	0	0	271	0	0	0	460	5	2	1	3	3	0	11	743
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	3,718	2,766	2,042	1,076	18	7	9,627	49	0	49	16,308	357	100	116	215	161	0	733	26,717
YR4	5,314	3,093	2,792	2,133	48	17	13,397	101	0	101	22,694	662	112	93	205	280	0	1,146	37,338
YR5	1,235	1,029	67	45	7	3	2,386	33	1	34	4,042	13	36	36	72	17	0	102	6,564
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL4	9	2	0	0	0	0	11	5	0	5	19	0	0	0	1	0	0	1	35
YL5	3,997	2,519	1,725	512	3	1	8,756	11	1	12	14,833	379	93	92	185	256	0	820	24,421
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	213	122	0	0	0	0	336	3	0	3	570	0	5	5	9	0	0	9	918
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL1	1,913	1,776	828	283	2	1	4,804	14	1	15	8,137	223	75	104	180	267	0	670	13,626
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18,216	12,290	8,206	4,275	81	29	43,097	379	4	384	73,007	1,863	511	615	1,126	1,096	0	4,085	120,573

様式-3 被害額(当面6年間実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川

1/70

単位: 百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額							農作物被害額			公共土木施設等被害額	間接被害額						合計	
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計		営業停止損失	家庭における応急対策費用		事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計		
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労働対価	代替活動等					
YR1-1	2,497	1,637	1,180	352	6	2	5,675	190	3	193	9,613	347	121	222	343	162	0	851	16,331
YR1-2	1,488	971	5	0	25	8	2,496	46	16	62	4,229	1	36	25	61	7	0	69	6,856
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	5,297	3,551	2,674	1,544	22	9	13,097	52	0	52	22,187	458	133	138	270	224	0	952	36,288
YR4	7,856	4,087	3,037	2,375	64	21	17,440	106	0	106	29,543	814	146	109	255	387	0	1,456	48,545
YR5	2,129	1,389	91	64	10	3	3,687	35	1	36	6,245	19	50	42	92	26	0	137	10,105
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	744	315	16	10	6	2	1,092	10	0	10	1,850	5	11	8	19	15	0	40	2,992
YL4	18	6	0	0	0	0	25	5	0	5	42	0	0	1	1	0	0	1	72
YL5	6,807	3,855	2,035	666	6	2	13,370	14	1	15	22,649	525	140	113	253	359	0	1,137	37,171
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	383	196	0	0	1	0	580	3	0	3	982	0	7	6	13	0	0	13	1,578
KR2-2	291	303	5	3	1	1	605	1	0	1	1,025	2	11	12	23	5	0	30	1,661
KL1	3,212	3,008	1,275	453	6	2	7,955	17	1	18	13,476	313	121	147	268	417	0	998	22,447
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	30,724	19,318	10,318	5,467	146	50	66,022	479	21	499	111,841	2,484	775	823	1,598	1,601	0	5,684	184,046

様式-3 被害額(当面6年間実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川

1/100

単位: 百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額							農作物被害額			公共土木施設等被害額	間接被害額						合計	
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計		営業停止損失	家庭における応急対策費用		事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計		
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労働対価	代替活動等					
YR1-1	11,249	13,011	12,156	2,468	28	11	38,923	183	1	184	65,936	1,843	507	732	1,239	1,023	0	4,105	109,147
YR1-2	6,497	6,249	2,319	1,075	53	21	16,214	227	26	253	27,467	597	248	336	584	325	0	1,506	45,440
YR2	333	205	30	26	5	2	601	23	4	27	1,018	7	8	8	16	10	0	33	1,679
YR3	7,978	5,225	2,962	1,817	30	11	18,023	55	0	55	30,531	552	189	164	353	310	0	1,215	49,824
YR4	10,424	4,777	3,181	2,521	75	23	21,002	109	0	109	35,577	950	176	123	300	419	0	1,668	58,356
YR5	3,073	1,672	110	81	12	4	4,951	35	1	36	8,388	23	61	47	108	33	0	164	13,539
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	896	338	17	10	6	2	1,269	10	0	10	2,150	5	12	9	21	17	0	43	3,472
YL4	32	11	0	0	0	0	44	6	0	6	74	0	1	1	1	0	0	1	125
YL5	10,694	5,140	2,289	847	9	3	18,983	15	1	15	32,157	719	193	132	324	443	0	1,486	52,641
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	506	244	1	0	1	0	753	3	0	3	1,276	1	9	7	16	0	0	18	2,049
KR2-2	452	417	7	5	2	1	884	2	0	2	1,498	3	15	15	30	8	0	40	2,424
KL1	4,715	4,393	1,752	635	9	4	11,507	21	1	22	19,493	407	173	187	359	544	0	1,311	32,332
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	56,850	41,681	24,825	9,486	231	82	133,155	687	34	721	225,564	5,107	1,592	1,761	3,352	3,131	0	11,590	371,029

様式-3 被害額(当面6年間実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川

1/150

単位: 百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額							農作物被害額			公共土木施設等被害額	間接被害額						合計	
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計		営業停止損失	家庭における応急対策費用		事業所における応急対策費用	その他の間接被害	小計		
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労働対価	代替活動等					
YR1-1	20,560	22,174	19,666	4,738	59	22	67,219	233	3	236	113,868	2,767	906	1,060	1,966	1,843	0	6,576	187,900
YR1-2	30,090	28,311	15,272	6,304	154	55	80,187	298	40	338	135,836	2,560	1,037	935	1,972	1,649	0	6,181	222,541
YR2	1,405	570	64	70	15	5	2,128	28	8	35	3,605	19	21	15	36	27	0	82	5,850
YR3	13,424	7,450	3,584	2,547	51	16	27,073	60	0	60	45,861	814	263	194	456	454	0	1,724	74,718
YR4	11,643	5,088	3,272	2,577	79	25	22,683	111	1	112	38,425	975	191	132	323	436	0	1,733	62,953
YR5	3,399	1,766	120	91	12	4	5,393	35	1	36	9,136	26	66	49	114	35	0	175	14,740
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	9,692	4,135	3,475	1,108	28	10	18,447	450	12	463	31,249	874	237	409	646	292	0	1,813	51,972
YL2	860	543	11	23	10	3	1,451	3	15	18	2,457	6	19	15	34	3	0	42	3,968
YL3	958	347	17	11	6	2	1,341	10	0	10	2,272	6	13	9	22	17	0	44	3,668
YL4	53	30	0	0	1	0	84	6	0	6	143	0	1	2	3	0	0	3	237
YL5	12,281	5,620	2,327	887	13	4	21,131	15	1	15	35,797	744	213	138	350	462	0	1,556	58,499
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	639	283	3	1	1	0	928	3	0	3	1,572	2	10	8	18	0	0	20	2,523
KR2-2	489	438	8	5	2	1	943	2	0	2	1,598	3	17	16	33	8	0	44	2,587
KL1	6,762	5,854	2,265	855	12	5	15,753	25	1	26	26,685	538	232	228	460	729	0	1,726	44,190
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	112,253	82,610	50,084	19,216	444	153	264,761	1,279	82	1,362	448,504	9,332	3,225	3,208	6,433	5,954	0	21,720	736,346

様式-3 被害額(事業実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(整備河道)

1/5

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額								農作物被害額			公共土木 施設等被 害額	間接被害額					合計
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計	営業停 止 損失		家庭における 応急対策費用		事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間 接 被 害	小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働 対 価	代替 活 動 等				
YR1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式-3 被害額(事業実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(整備河道)

1/10

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額								農作物被害額			公共土木 施設等被 害額	間接被害額					合計
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計	営業停 止 損失		家庭における 応急対策費用		事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間 接 被 害	小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働 対 価	代替 活 動 等				
YR1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式-3 被害額(事業実施後) 水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(整備河道) 1/30 単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額								農作物被害額			公共土木 施設等被 害額	間接被害額						合計
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	営業停 止 損失		家庭における 応急対策費用			事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間 接 被 害	小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働 対 価	代替 活動等	小計				
YR1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

様式-3 被害額(事業実施後) 水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(整備河道) 1/50 単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額								農作物被害額			公共土木 施設等被 害額	間接被害額						合計
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	営業停 止 損失		家庭における 応急対策費用			事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間 接 被 害	小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働 対 価	代替 活動等	小計				
YR1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

様式-3 被害額(事業実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(整備河道)

1/70

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額							農作物被害額			公共土木 施設等被害額	間接被害額					合計	
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計		営業停 止 損失	家庭における 応急対策費用		事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間 接 被 害		小計
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等				
YR1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KR2-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KR2-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式-3 被害額(事業実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(整備河道)

1/100

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額							農作物被害額			公共土木 施設等被害額	間接被害額					合計	
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計		営業停 止 損失	家庭における 応急対策費用		事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間 接 被 害		小計
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等				
YR1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL1-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
YL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
KR1	542	260	393	86	0	0	1,280	3	1	4	2,169	103	12	20	31	38	172	3,625
KR2-1	195	104	0	0	0	0	299	2	0	2	507	0	4	4	9	0	9	817
KR2-2	438	408	7	5	2	1	860	2	0	2	1,457	3	15	14	29	7	39	2,358
KL1	1,829	1,683	788	264	2	1	4,567	14	1	15	7,737	215	71	101	172	244	631	12,950
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,003	2,454	1,189	355	5	2	7,007	21	2	23	11,870	321	101	140	241	289	851	19,750

様式-3 被害額(事業実施後)

水系名:吉井川 河川名:吉井川・金剛川(整備河道)

1/150

単位: 百万円

氾濫 ブロック	一般資産被害額							農作物被害額			公共土木 施設等被害額	間接被害額					合計		
	家屋	家庭 用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計		営業停 止 損失	家庭における 応急対策費用		事業所 における 応急対 策 費用	その 他の 間 接 被 害		小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労 働対価	代替 活動等					
YR1-1	20,547	22,164	19,659	4,737	59	22	67,187	232	3	236	113,815	2,765	906	1,059	1,965	1,842	0	6,573	187,811
YR1-2	29,859	28,175	15,257	6,290	154	55	79,789	297	40	337	135,163	2,551	1,033	933	1,965	1,641	0	6,157	221,447
YR2	1,259	520	60	65	14	4	1,922	28	7	34	3,256	17	19	14	33	25	0	75	5,288
YR3	10,843	6,372	3,308	2,226	42	14	22,805	57	0	57	38,631	690	226	178	403	387	0	1,481	62,974
YR4	5,552	3,246	2,854	2,183	50	17	13,902	103	0	103	23,549	684	117	96	213	300	0	1,197	38,751
YR5	1,915	1,287	82	57	9	3	3,352	34	0	35	5,678	17	46	40	86	24	0	127	9,191
YL1-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
YL1-2	9,666	4,117	3,464	1,103	28	10	18,387	449	12	462	31,147	871	237	408	645	291	0	1,807	51,803
YL2	849	533	9	18	10	3	1,422	3	15	18	2,409	5	19	14	33	2	0	40	3,890
YL3	855	331	16	10	6	2	1,220	10	0	10	2,067	5	12	8	20	16	0	41	3,338
YL4	53	30	0	0	1	0	84	6	0	6	143	0	1	2	3	0	0	3	237
YL5	10,976	5,195	2,293	851	9	3	19,328	15	1	15	32,741	726	196	133	329	444	0	1,499	53,584
KR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KR2-1	316	170	0	0	1	0	488	3	0	3	826	0	6	6	12	0	0	12	1,329
KR2-2	485	437	8	5	2	1	938	2	0	2	1,589	3	16	16	32	8	0	43	2,572
KL1	3,350	3,118	1,314	472	6	2	8,262	17	1	18	13,995	323	126	150	275	441	0	1,039	23,314
KL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	96,526	75,695	48,324	18,016	388	137	239,086	1,257	80	1,337	405,012	8,657	2,958	3,055	6,013	5,422	0	20,093	665,528

全体事業 (H25～H44)

様式-4 年平均被害軽減期待額 水系名：吉井川 河川名：吉井川・金剛川

対象河道：平成24年末河道～整備河道 金額は百万円

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①-②					
無害流量	0.5000	0	0	0	569	0.3000	171	171	
1/5	0.2000	1,138	0	1,138	5,600	0.100	560	731	
1/10	0.1000	10,061	0	10,061	51,841	0.067	3,456	4,187	
1/30	0.0333	93,621	0	93,621	129,359	0.013	1,725	5,911	
1/50	0.0200	165,096	0	165,096	196,592	0.006	1,123	7,035	
1/70	0.0143	228,089	0	228,089	299,253	0.004	1,283	8,317	
1/100	0.0100	390,168	19,750	370,418	231,763	0.003	773	9,090	
1/150	0.0067	758,635	665,528	93,107					

当面事業 (H25～H30)

様式-4 年平均被害軽減期待額 水系名：吉井川 河川名：吉井川・金剛川

対象河道：平成24年度末河道～平成30年度末河道 金額は百万円

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①-②					
無害流量	0.5000	0	0	0	402	0.300	121	121	
1/5	0.2000	1,138	334	804	3,269	0.100	327	447	
1/10	0.1000	10,061	4,327	5,734	20,611	0.067	1,374	1,822	
1/30	0.0333	93,621	58,132	35,489	40,006	0.013	533	2,355	
1/50	0.0200	165,096	120,573	44,523	44,283	0.006	253	2,608	
1/70	0.0143	228,089	184,046	44,043	31,591	0.004	135	2,743	
1/100	0.0100	390,168	371,029	19,139	20,714	0.003	69	2,812	
1/150	0.0067	758,635	736,346	22,289					



全体事業(H25~H44)

様式-5 費用対便益

水系名:吉井川

河川名:吉井川、金剛川 単位(百万円)

区分	年度	t	現在 価値 換算率	便 益			費 用					費用 便益 比 B/C	純現 在価 値 B-C	摘要		
				便益①		残存 価値 ②	事業費③		計 ③+④							
				便益	現在 価値		計 ①+②	費用	現在 価値	費用	現在 価値				費用	現在 価値
現時点からの 整備期間 (H25~H44)	H 24	0	1.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	基準年 事業開始			
	H 25	1	0.962	0	0	0	607	584	0	0	607	584				
	H 26	2	0.925	135	125	125	4,428	4,094	1	1	4,430	4,095				
	H 27	3	0.889	1,123	999	999	2,089	1,857	7	6	2,095	1,863				
	H 28	4	0.855	1,589	1,359	1,359	2,136	1,826	7	6	2,143	1,832				
	H 29	5	0.822	2,066	1,698	1,698	1,731	1,423	7	6	1,738	1,429				
	H 30	6	0.790	2,452	1,938	1,938	1,615	1,276	9	7	1,623	1,283				
	H 31	7	0.760	2,812	2,137	2,137	1,227	933	10	8	1,237	940				
	H 32	8	0.731	3,261	2,383	2,383	1,227	897	11	8	1,238	905				
	H 33	9	0.703	3,709	2,606	2,606	1,227	862	12	8	1,239	871				
	H 34	10	0.676	4,158	2,809	2,809	1,227	829	13	9	1,241	838				
	H 35	11	0.650	4,606	2,992	2,992	1,227	797	15	9	1,242	807				
	H 36	12	0.625	5,054	3,157	3,157	1,227	767	16	10	1,243	776				
	H 37	13	0.601	5,503	3,305	3,305	1,227	737	25	15	1,252	752				
	H 38	14	0.577	5,951	3,437	3,437	1,227	709	27	16	1,254	724				
	H 39	15	0.555	6,400	3,553	3,553	1,227	681	28	15	1,255	697				
	H 40	16	0.534	6,848	3,656	3,656	1,227	655	28	15	1,256	670				
	H 41	17	0.513	7,296	3,746	3,746	961	493	30	15	991	509				
	H 42	18	0.494	7,745	3,823	3,823	961	474	31	15	992	490				
	H 43	19	0.475	8,193	3,889	3,889	961	456	32	15	993	471				
	H 44	20	0.456	8,642	3,944	3,944	961	439	35	16	996	454				
	施設完成後の 評価期間 (50年)	H 45	21	0.439	9,090	3,989	3,989			39	17	39		17		
		H 46	22	0.422	9,090	3,836	3,836			39	17	39		17		
		H 47	23	0.406	9,090	3,688	3,688			39	16	39		16		
H 48		24	0.390	9,090	3,546	3,546			39	15	39	15				
H 49		25	0.375	9,090	3,410	3,410			39	15	39	15				
H 50		26	0.361	9,090	3,279	3,279			39	14	39	14				
H 51		27	0.347	9,090	3,153	3,153			39	14	39	14				
H 52		28	0.333	9,090	3,031	3,031			39	13	39	13				
H 53		29	0.321	9,090	2,915	2,915			39	13	39	13				
H 54		30	0.308	9,090	2,803	2,803			39	12	39	12				
H 55		31	0.296	9,090	2,695	2,695			39	12	39	12				
H 56		32	0.285	9,090	2,591	2,591			39	11	39	11				
H 57		33	0.274	9,090	2,491	2,491			39	11	39	11				
H 58		34	0.264	9,090	2,396	2,396			39	10	39	10				
H 59		35	0.253	9,090	2,304	2,304			39	10	39	10				
H 60		36	0.244	9,090	2,215	2,215			39	10	39	10				
H 61		37	0.234	9,090	2,130	2,130			39	9	39	9				
H 62		38	0.225	9,090	2,048	2,048			39	9	39	9				
H 63		39	0.217	9,090	1,969	1,969			39	8	39	8				
H 64		40	0.208	9,090	1,893	1,893			39	8	39	8				
H 65		41	0.200	9,090	1,821	1,821			39	8	39	8				
H 66		42	0.193	9,090	1,750	1,750			39	8	39	8				
H 67		43	0.185	9,090	1,683	1,683			39	7	39	7				
H 68		44	0.178	9,090	1,618	1,618			39	7	39	7				
H 69		45	0.171	9,090	1,556	1,556			39	7	39	7				
H 70		46	0.165	9,090	1,496	1,496			39	6	39	6				
H 71		47	0.158	9,090	1,439	1,439			39	6	39	6				
H 72		48	0.152	9,090	1,383	1,383			39	6	39	6				
H 73		49	0.146	9,090	1,330	1,330			39	6	39	6				
H 74		50	0.141	9,090	1,279	1,279			39	6	39	6				
H 75		51	0.135	9,090	1,230	1,230			39	5	39	5				
H 76		52	0.130	9,090	1,183	1,183			39	5	39	5				
H 77		53	0.125	9,090	1,137	1,137			39	5	39	5				
H 78		54	0.120	9,090	1,093	1,093			39	5	39	5				
H 79		55	0.116	9,090	1,051	1,051			39	5	39	5				
H 80		56	0.111	9,090	1,011	1,011			39	4	39	4				
H 81	57	0.107	9,090	972	972			39	4	39	4					
H 82	58	0.103	9,090	935	935			39	4	39	4					
H 83	59	0.099	9,090	899	899			39	4	39	4					
H 84	60	0.095	9,090	864	864			39	4	39	4					
H 85	61	0.091	9,090	831	831			39	4	39	4					
H 86	62	0.088	9,090	799	799			39	3	39	3					
H 87	63	0.085	9,090	768	768			39	3	39	3					
H 88	64	0.081	9,090	739	739			39	3	39	3					
H 89	65	0.078	9,090	710	710			39	3	39	3					
H 90	66	0.075	9,090	683	683			39	3	39	3					
H 91	67	0.072	9,090	657	657			39	3	39	3					
H 92	68	0.069	9,090	631	631			39	3	39	3					
H 93	69	0.067	9,090	607	607			39	3	39	3					
H 94	70	0.064	9,090	584	584			39	3	39	3					
合計				542,040	140,674	293	140,967	28,722	20,789	2,305	586	31,027	21,374	6.60	119,593	

当面事業(H25~H30)

様式-5 費用対便益

水系名: 吉井川

河川名: 吉井川、金剛川 単位(百万円)

区分	年度	t	現在 価値 換算率	便 益				費 用						費用 便益 比 B/C	純現 在価 値 B-C	摘 要
				便益①		残存 価値 ②	計 ①+②	事業費③		維持管理費		計 ③+④				
				便益	現在 価値			費用	現在 価値	費用	現在 価値	費用	現在 価値			
						便益	現在 価値									
H30 (H25) s 現時点からの 整備期間	H 24	0	1.000	0	0		0	0		0	0	0			基準年 事業開始	
	H 25	1	0.962	0	0		0	607	584	0	0	607	584			
	H 26	2	0.925	135	125		125	4,428	4,094	1	1	4,430	4,095			
	H 27	3	0.889	1,123	999		999	2,089	1,857	7	6	2,095	1,863			
	H 28	4	0.855	1,589	1,359		1,359	2,136	1,826	7	6	2,143	1,832			
	H 29	5	0.822	2,066	1,698		1,698	1,731	1,423	7	6	1,738	1,429			
施設 完成 後の 評価 期間 (50年)	H 30	6	0.790	2,452	1,938		1,938	1,615	1,276	9	7	1,623	1,283			
	H 31	7	0.760	2,812	2,137		2,137			10	8	10	8			
	H 32	8	0.731	2,812	2,055		2,055			10	7	10	7			
	H 33	9	0.703	2,812	1,976		1,976			10	7	10	7			
	H 34	10	0.676	2,812	1,900		1,900			10	7	10	7			
	H 35	11	0.650	2,812	1,827		1,827			10	7	10	7			
	H 36	12	0.625	2,812	1,757		1,757			10	6	10	6			
	H 37	13	0.601	2,812	1,689		1,689			10	6	10	6			
	H 38	14	0.577	2,812	1,624		1,624			10	6	10	6			
	H 39	15	0.555	2,812	1,562		1,562			10	6	10	6			
	H 40	16	0.534	2,812	1,502		1,502			10	5	10	5			
	H 41	17	0.513	2,812	1,444		1,444			10	5	10	5			
	H 42	18	0.494	2,812	1,388		1,388			10	5	10	5			
	H 43	19	0.475	2,812	1,335		1,335			10	5	10	5			
	H 44	20	0.456	2,812	1,284		1,284			10	5	10	5			
	H 45	21	0.439	2,812	1,234		1,234			10	4	10	4			
	H 46	22	0.422	2,812	1,187		1,187			10	4	10	4			
	H 47	23	0.406	2,812	1,141		1,141			10	4	10	4			
	H 48	24	0.390	2,812	1,097		1,097			10	4	10	4			
	H 49	25	0.375	2,812	1,055		1,055			10	4	10	4			
	H 50	26	0.361	2,812	1,014		1,014			10	4	10	4			
	H 51	27	0.347	2,812	975		975			10	4	10	4			
	H 52	28	0.333	2,812	938		938			10	3	10	3			
	H 53	29	0.321	2,812	902		902			10	3	10	3			
	H 54	30	0.308	2,812	867		867			10	3	10	3			
	H 55	31	0.296	2,812	834		834			10	3	10	3			
	H 56	32	0.285	2,812	802		802			10	3	10	3			
	H 57	33	0.274	2,812	771		771			10	3	10	3			
	H 58	34	0.264	2,812	741		741			10	3	10	3			
	H 59	35	0.253	2,812	713		713			10	3	10	3			
	H 60	36	0.244	2,812	685		685			10	2	10	2			
	H 61	37	0.234	2,812	659		659			10	2	10	2			
	H 62	38	0.225	2,812	634		634			10	2	10	2			
	H 63	39	0.217	2,812	609		609			10	2	10	2			
H 64	40	0.208	2,812	586		586			10	2	10	2				
H 65	41	0.200	2,812	563		563			10	2	10	2				
H 66	42	0.193	2,812	542		542			10	2	10	2				
H 67	43	0.185	2,812	521		521			10	2	10	2				
H 68	44	0.178	2,812	501		501			10	2	10	2				
H 69	45	0.171	2,812	481		481			10	2	10	2				
H 70	46	0.165	2,812	463		463			10	2	10	2				
H 71	47	0.158	2,812	445		445			10	2	10	2				
H 72	48	0.152	2,812	428		428			10	2	10	2				
H 73	49	0.146	2,812	412		412			10	1	10	1				
H 74	50	0.141	2,812	396		396			10	1	10	1				
H 75	51	0.135	2,812	381		381			10	1	10	1				
H 76	52	0.130	2,812	366		366			10	1	10	1				
H 77	53	0.125	2,812	352		352			10	1	10	1				
H 78	54	0.120	2,812	338		338			10	1	10	1				
H 79	55	0.116	2,812	325		325			10	1	10	1				
H 80	56	0.111	2,812	313		313			10	1	10	1				
合計				147,987	53,867	58	53,925	12,606	11,060	541	199	13,147	11,259	4.79	42,666	

# 事業費の内訳書

①全体事業(H25～H44)

## 河川事業

事業名	吉井川直轄河川改修事業(全体事業費)
-----	--------------------

評価年度	H24	新規
------	-----	----

区分	費目	工種	細別	金額 (百万円)	備考
工事費				17,258	
	本工事費			17,011	
		河道掘削	土	162	
		築堤	土堤	3,052	
			特殊堤	0	
		護岸		2,564	
		堰		0	
		堤防質的整備		2,804	
		その他(耐震対策)		8,406	
		樹木伐採		23	
	附帯工事費			247	
		樋門・樋管		247	
		その他		0	
用地費及補償費				3,079	
	用地費			811	
	補償費			2,268	
間接経費等				8,385	
事業費 計				28,722	

維持管理費		2,305	
-------	--	-------	--

## 事業費の内訳書

③当面事業H25～H30)

### 河川事業

事業名	吉井川直轄河川改修事業(当面事業費)
-----	--------------------

評価年度	H24	新規
------	-----	----

区分	費目	工種	細別	金額 (百万円)	備考
工事費				9,296	
	本工事費			9,296	
		河道掘削	土	0	
		築堤	土堤	435	
			特殊堤	0	
		護岸		849	
		堰		0	
		その他(耐震対策)		8,012	
		樹木伐採		0	
	附帯工事費			0	
		樋門・樋管		0	
		その他		0	
用地費及補償費				0	
	用地費			0	
	補償費			0	
間接経費等				3,310	
事業費 計				12,606	

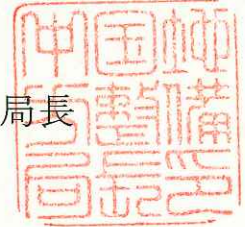
維持管理費	541	
-------	-----	--

吉井川直轄河川改修事業  
〔岡山県への意見照会と回答〕

国中整企画第40号  
国中整港計第7号  
平成24年8月31日

岡山県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成24年9月26日(水)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
吉井川直轄河川改修事業	継続	
吉井川総合水系環境整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る  
対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限 : 平成24年9月14日(金)までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤原

教習係長 松田

TEL:082-221-9231(代表)

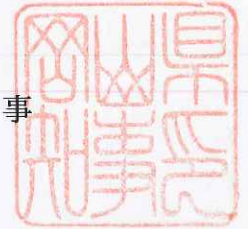
FAX:082-227-2651

技 第 1 9 5 号

平成 2 4 年 9 月 1 1 日

中国地方整備局長 様

岡山県知事

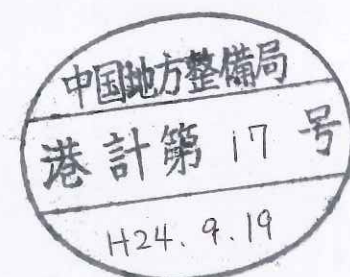


中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に  
係る意見照会について（回答）

平成 2 4 年 8 月 3 1 日付け国中整企画第 4 0 号及び国中整港計第 7 号で照会のあった  
下記事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- ・ 吉井川直轄河川改修事業
- ・ 吉井川総合水系環境整備事業





(別紙1)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

	事業課名	河川課
事業名	吉井川直轄河川改修事業 吉井川総合水系環境整備事業	
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である <input checked="" type="radio"/> ・ 妥当でない <input type="radio"/>	
(意見)		
<p>吉井川直轄河川改修事業により、吉井川下流地域の洪水被害が軽減され、治水安全度の向上が期待される。河川整備計画を早期に策定し、さらなるコスト縮減を図るとともに、環境にも十分配慮しながら、早期完成に努めていただきたい。</p> <p>吉井川総合水系環境整備事業では、国の天然記念物であるアユモドキの生息・繁殖環境が改善されるとともに、日常から多くの住民に利用されている吉井川の安全な水辺利用が促進されるなど、環境および利用の両面において必要性が認められる。一層のコスト縮減を図るとともに、専門家、地域住民の意見を十分取り入れながら、早期完成に努めていただきたい。</p>		

※1 対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。

※2 具体的な意見がある場合は、(意見)欄に記載して下さい。

特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、(意見)欄にその理由を必ず記載して下さい。

※3 中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにして下さい。